



JFE

**JFEグループ
インベスターズ・ミーティング**

2010年4月21日

JFEホールディングス株式会社

1. JFEグループ2009年度業績
2. " 2010年度業績見通し
3. JFEグループの経営方針

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

1. JFEグループ 2009年度業績

2009年度 決算概要

(億円)

	2008年度 (A)	2009年度		合計(B)	増減 (B-A)
		上期	下期		
売上高	39,082	13,067	15,376	28,443	▲10,639
営業利益	4,078	▲409	1,296	887	▲3,191
経常利益	4,005	▲574	1,266	692	▲3,313
当期純利益	1,942	▲286	742	456	▲1,486

2009年度 決算概要 【セグメント別】

[セグメント別]

		2008年度 (A)	2009年度		合計(B)
			上期	下期	
鉄鋼事業	売上高	34,233	10,620	12,194	22,814
	経常利益	4,125	▲ 724	1,047	323
エンジニアリング	売上高	3,382	1,169	1,773	2,942
	経常利益	99	28	105	133
造船事業	売上高	1,814	1,388	1,479	2,867
	経常利益	▲ 149	104	111	215
その他事業	売上高	529	228	287	515
	経常利益	▲ 79	▲ 18	▲ 9	▲ 27
消去・全社	売上高	▲ 878	▲ 340	▲ 355	▲ 695
	経常利益	9	36	12	48
合計	売上高	39,082	13,067	15,376	28,443
	経常利益	4,005	▲ 574	1,266	692

力強い収益の回復

(億円)

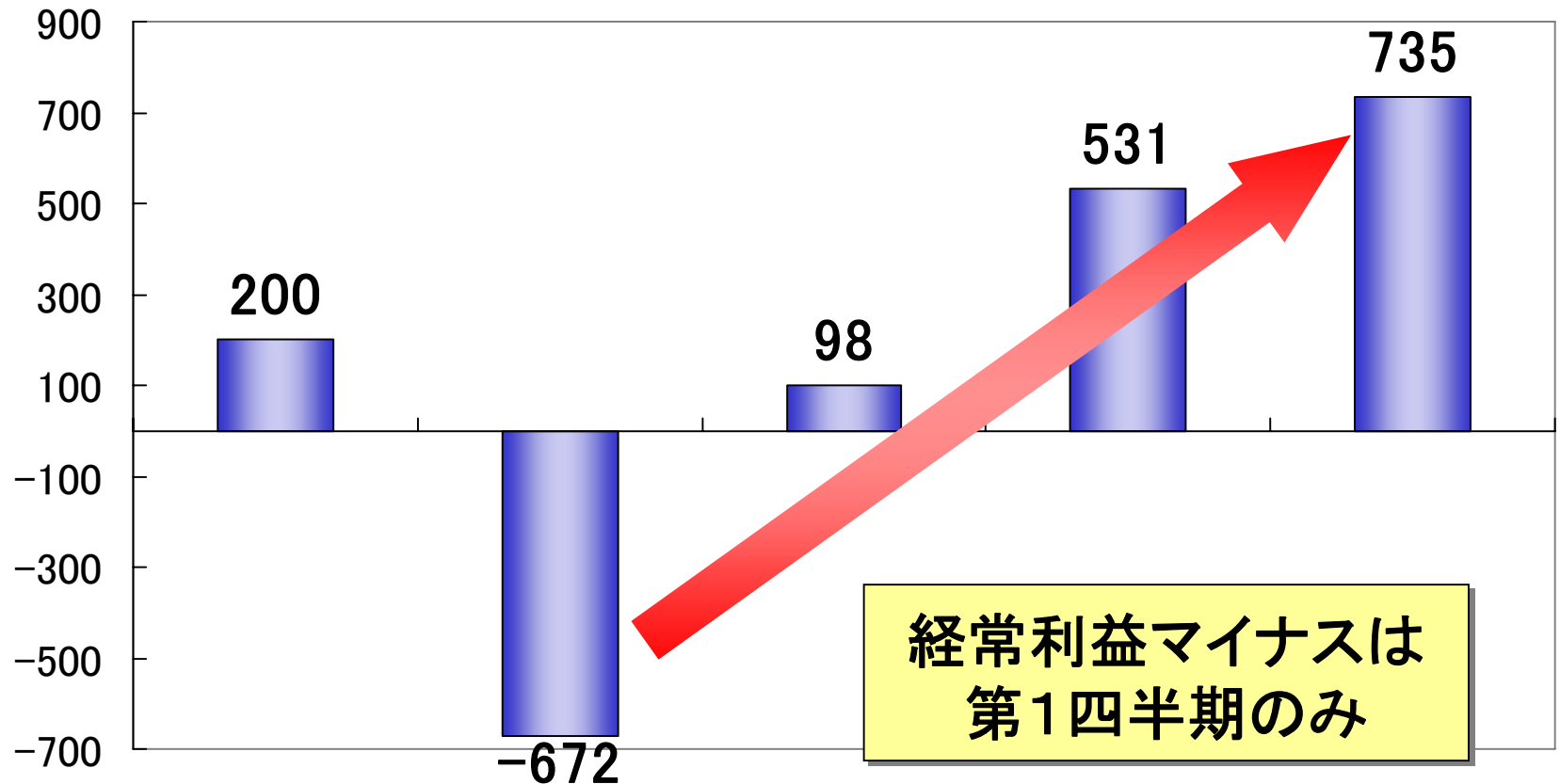
08年度4Q

09年度1Q

09年度2Q

09年度3Q

09年度4Q



力強い収益の回復

■ 鉄鋼事業:

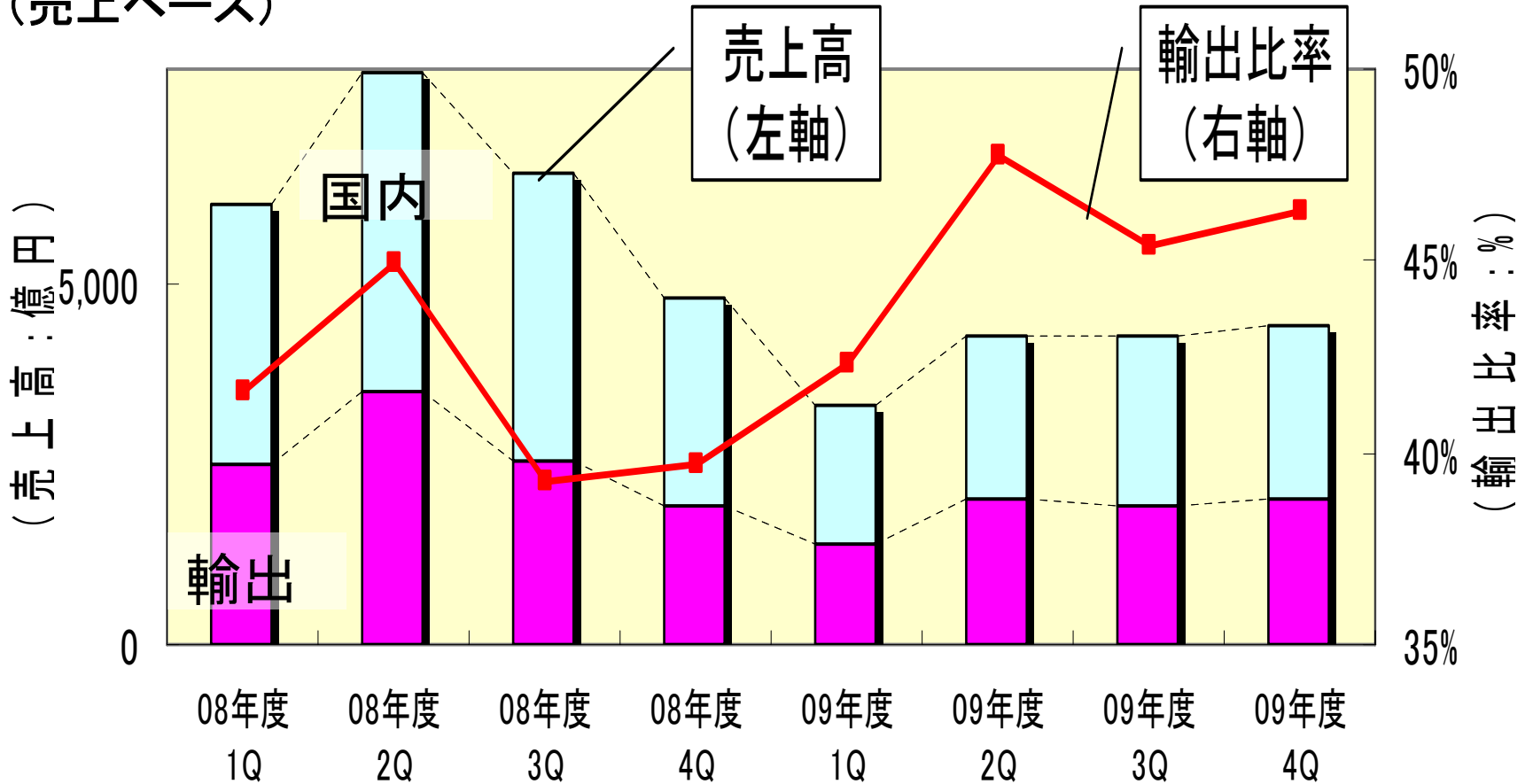
- 新興国市場の回復をタイムリーに捕捉
- 需要に見合った生産運用(高炉)
- コスト削減の徹底

■ エンジ・造船その他:

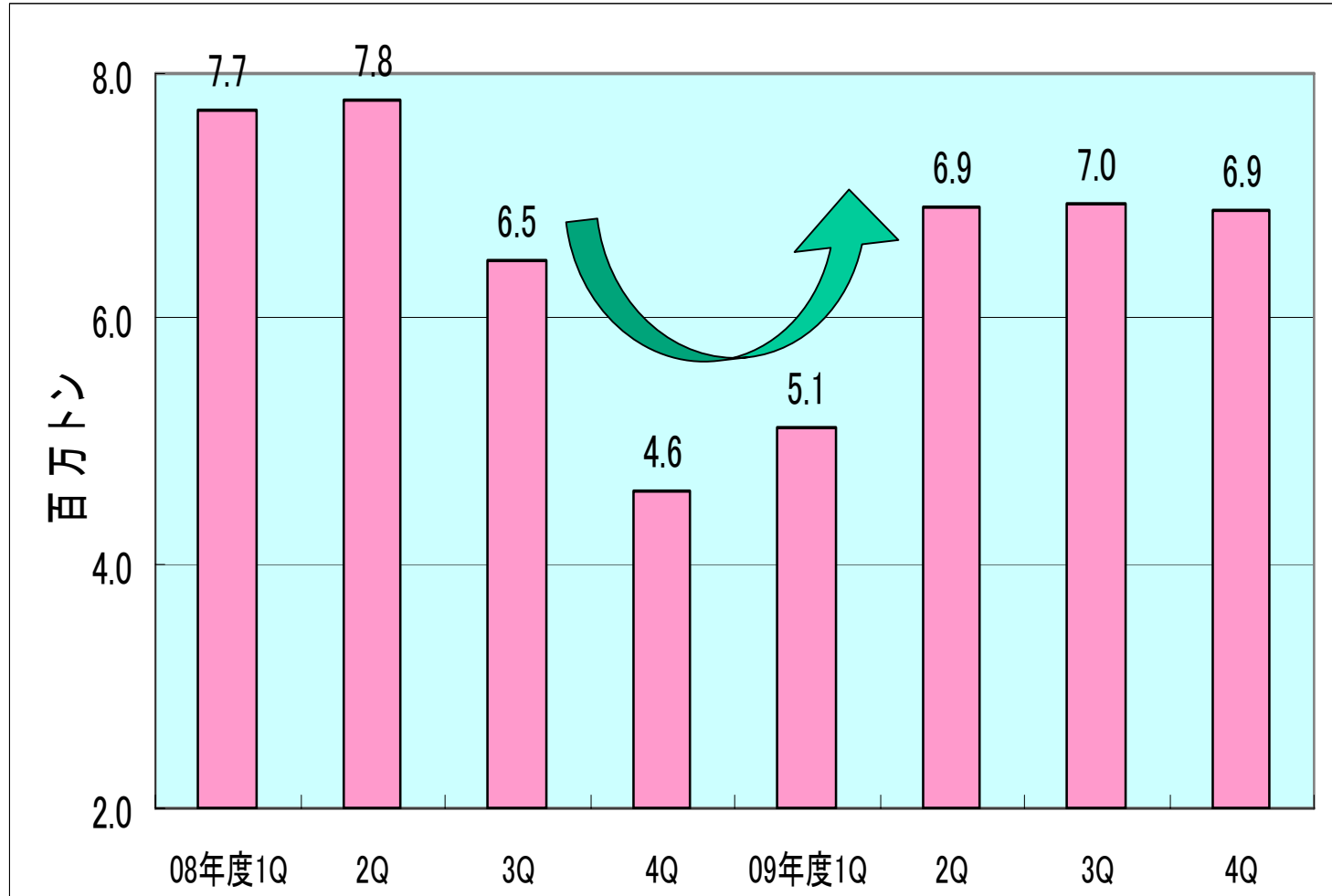
- 徹底したコスト削減による高収益実現(エンジ・造船)
- 事業の選択と集中(都市開発・LSI事業)

新興国市場の回復をタイムリーに捕捉

(売上ベース)



需要に見合った生産運用(高炉)



稼働高炉(基) 9

→

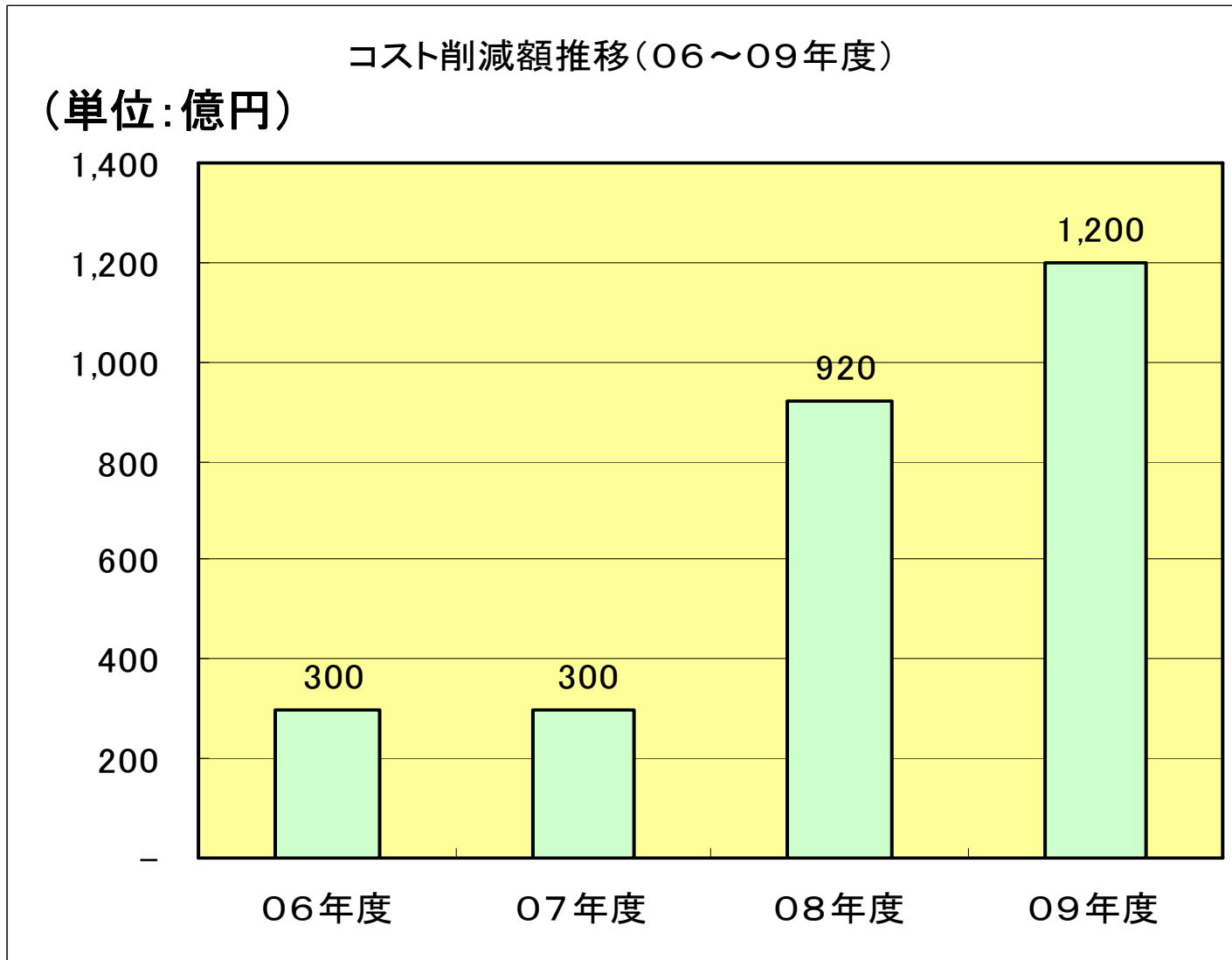
8→7

→

→

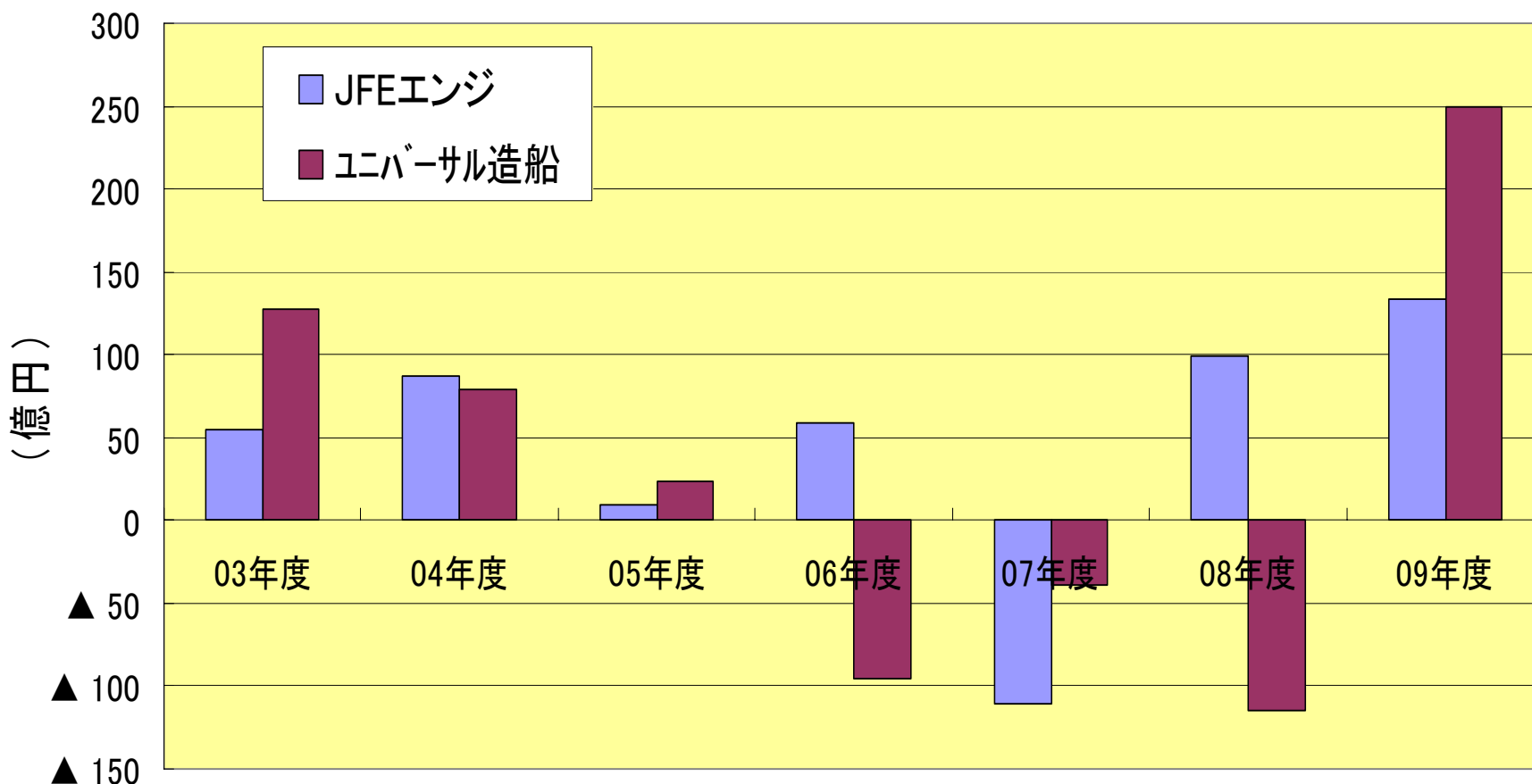
8 →

コスト削減の徹底



最高益を更新

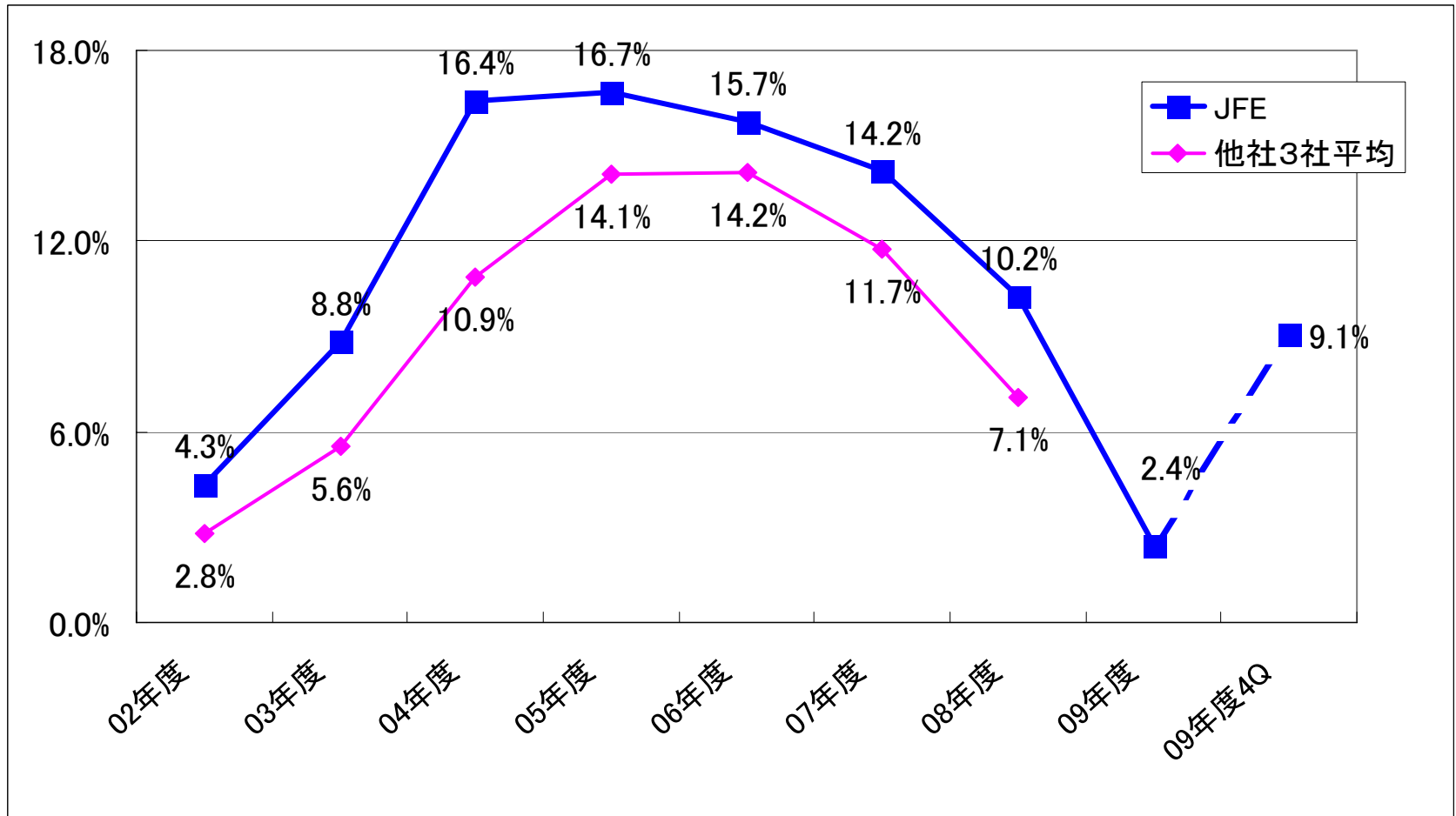
JFEエンジン・ユニバーサル造船 経常利益推移



※ユニバーサル造船の数字はHD造船事業とは異なる(のれん代償却分)

利益率の推移

<JFE・国内高炉他3社平均のROSの推移> ROS = 経常利益 / 売上高



【まとめ】業績推移

	(億円)			
	2007年度	2008年度	2009年度	増減 (対前年度)
売上高	35,398	39,082	28,443	▲ 10,639
営業利益	5,105	4,078	887	▲ 3,191
(営業利益率)	14.4%	10.4%	3.1%	▲ 7.3%
経常利益	5,029	4,005	692	▲ 3,313
(経常利益率)	14.2%	10.2%	2.4%	▲ 7.8%
当期純利益	2,618	1,942	456	▲ 1,486

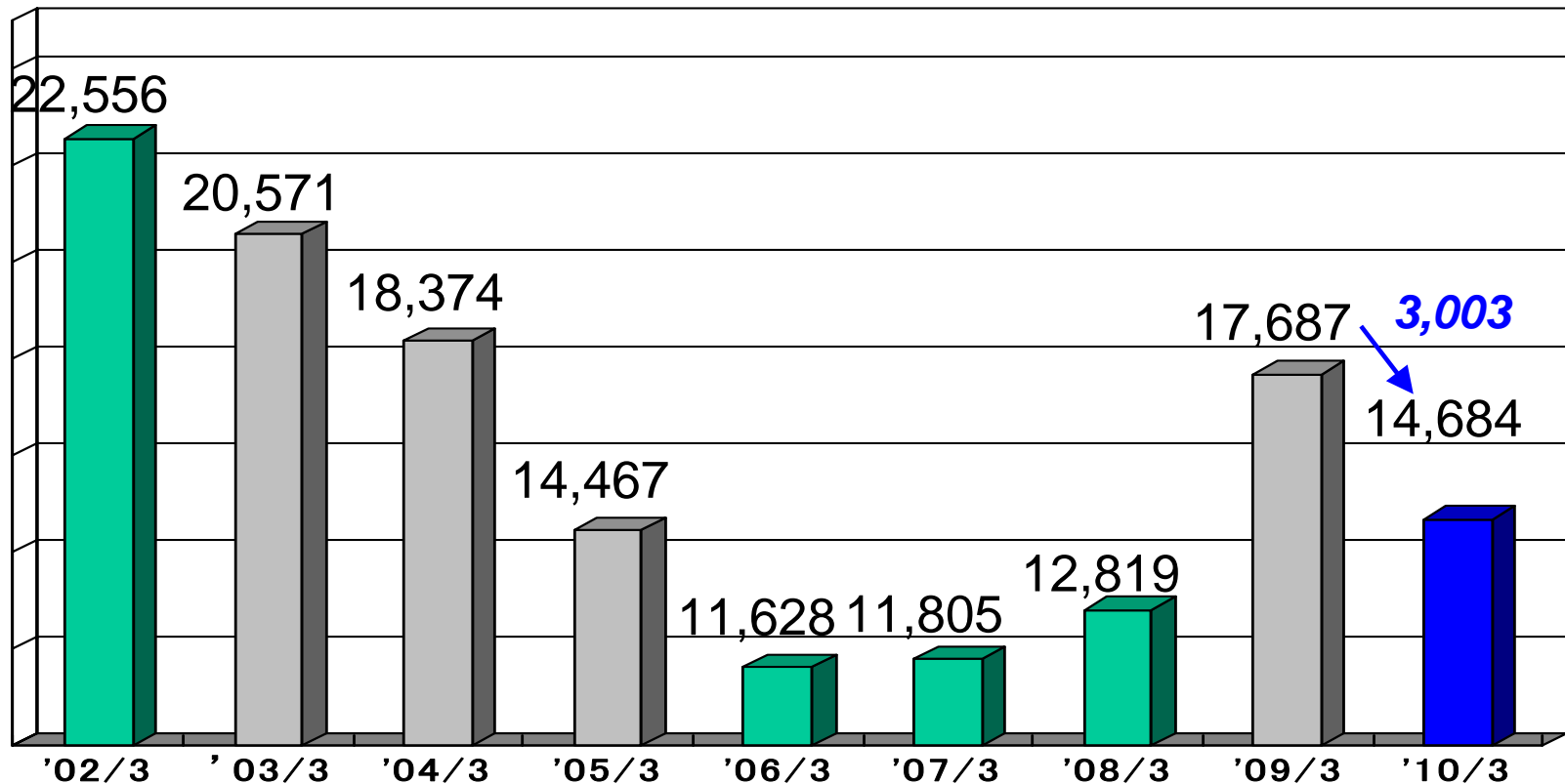
【まとめ】借入金・社債残高

経常利益	692
減価償却費	2,483
設備投資(支払ベース)	▲2,334
運転収支・現預金増減 他	3,838
税金・配当 他	▲1,676

(単位:億円)

借入金減少 3,003

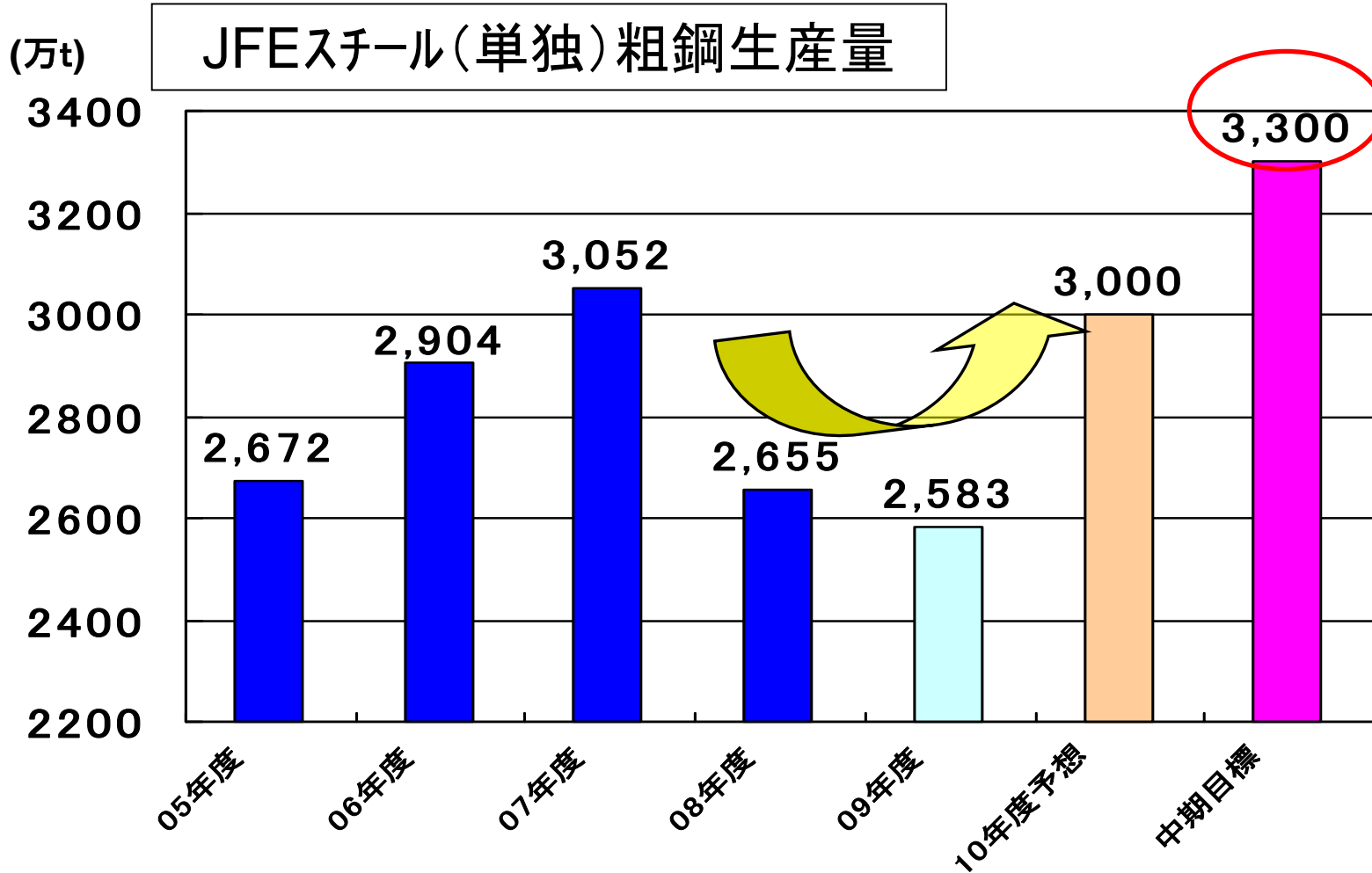
(単位:億円)



2009年度の主要な活動

- 鉄鋼事業：（※（ ）内は発表月）
 - 単独粗鋼3,300万t体制の着実な実行
 - 海外アライアンスの拡大
（インドJSW社との包括提携（09/11）、
MYCRON、SUNSCO（10/2）など）
 - 原料自給率の向上（09/12）
（Qコールバイヤウエン鉱の権益取得）

生産体制：単独粗鋼を3,300万トンに拡大



連結粗鋼 （万t）	3,015	3,283	3,427	2,928	2,835	3,280	3,700
--------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(1) インドJSW社と戦略的包括提携契約(09/11発表)

- ・粗鋼能力: 現行780万t→2011年計画: 1100→2020年計画: 3200万t
- ・自動車用鋼材野での提携(製造技術供与、原板供給、共同サービス)
- ・その他(JSW計画中ウェストベンガルプロジェクト参画、相互出資検討など)

(2) MYCRON(マレーシア)(10/2発表)

- ・出資: 3% (資本金: 179百万リンギット(約49億円))
- ・出資&技術供与(自動車分野・EG原板提供)により冷延増強後の原板供給
- ・数量増効果: 熱延、2012年頃+20万t/年

(3) SUNSCO(ベトナム)(10/2発表)

- ・出資: 8% (資本金: US\$ 130万(約117億円)、筆頭: 丸一鋼管殿: 64.3%)
- ・数量増効果: 熱延、2010年 +約5万t/年, 2011年~+10~15万t/年

バイアウエン炭鉱の権益取得

- 豪州Qコール社が新規開発するバイアウエン炭鉱権益の20%を取得
- 同炭鉱が生産する強粘炭の長期引取契約(200万t×10年)を締結

■ 原料炭自社保有率(バイアウエン炭鉱権益取得後で15%)は世界の主要鉄鋼会社の中でもトップクラス

■ 一級強粘炭長期安定確保

■ 配当による実質コスト低減

■ 原料炭マーケットの安定に寄与



2. JFEグループ 2010年度業績見通し

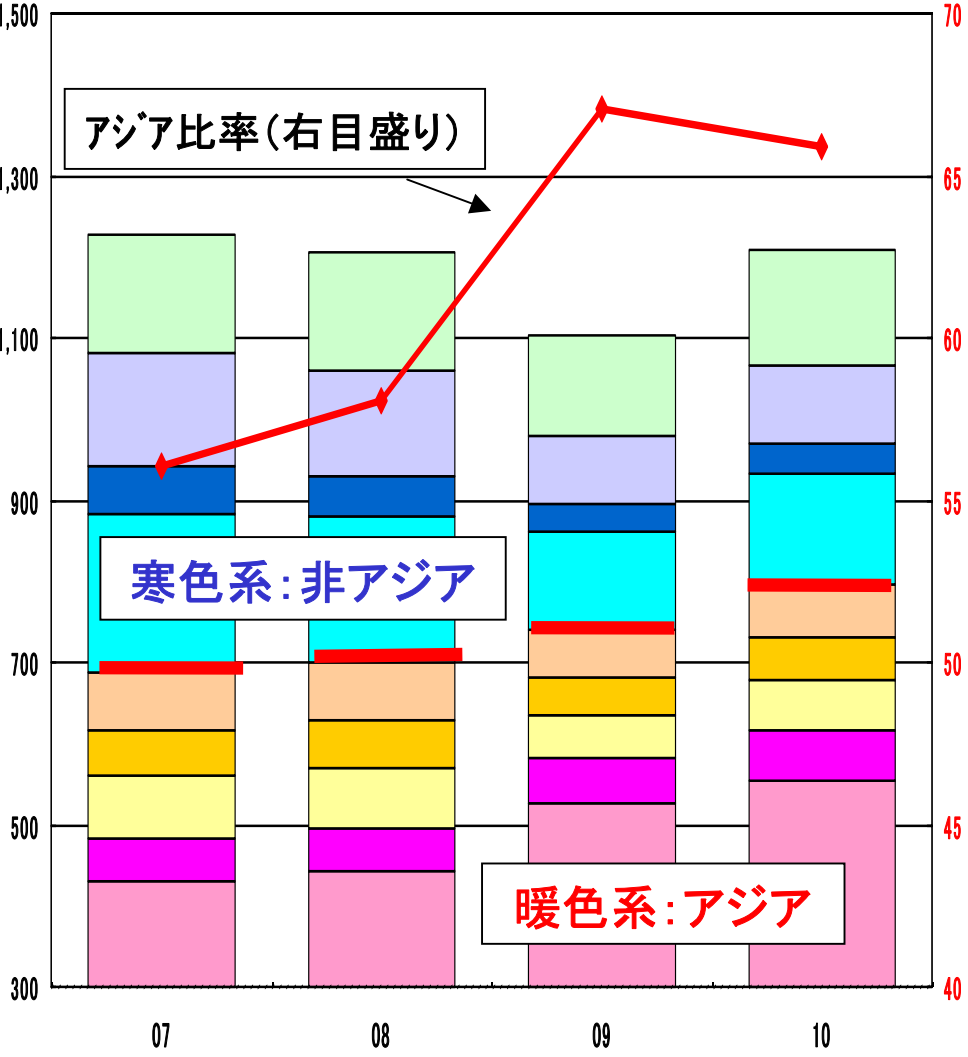
- 全体観：09年度からの緩やかな回復傾向が継続するが、全体としては低水準で推移。
- 土木：公共事業関係予算大幅削減影響（前年比▲18%）により鋼材も大幅減。
- 建築：09下期を底に回復に向かうが、設備投資の大幅な増加は期待出来ず、低水準。

- 自動車：国内販売堅調維持（減税、補助金延長効果）。
（生産台数 09年度：890万台→10年度：920）
- 造船：ピッチダウン本格化などにより需要減。
（造船厚板 09年度：470万t→10年度：440）
- 在庫：総じて低レベル（（例）薄板：2月末三品在庫は352万t（対前年▲100））

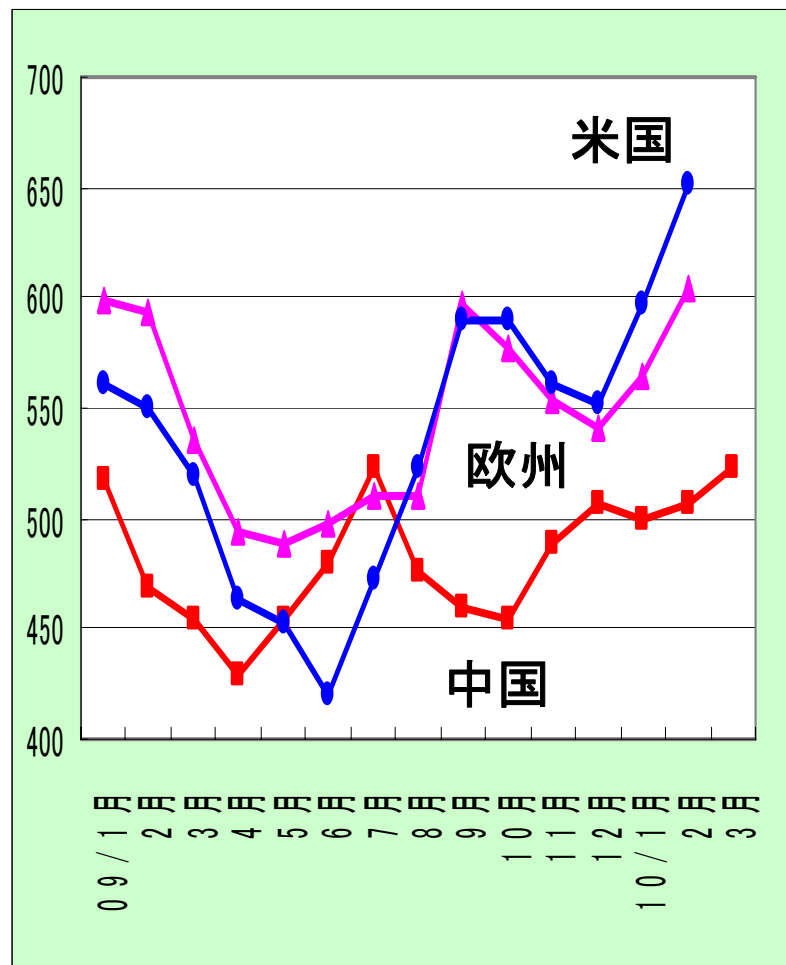


アジアの鉄鋼需要の牽引により世界的に価格上昇

百万t/年 世界鋼材消費量 %



熱延市況(現地価格) (単位:US\$)

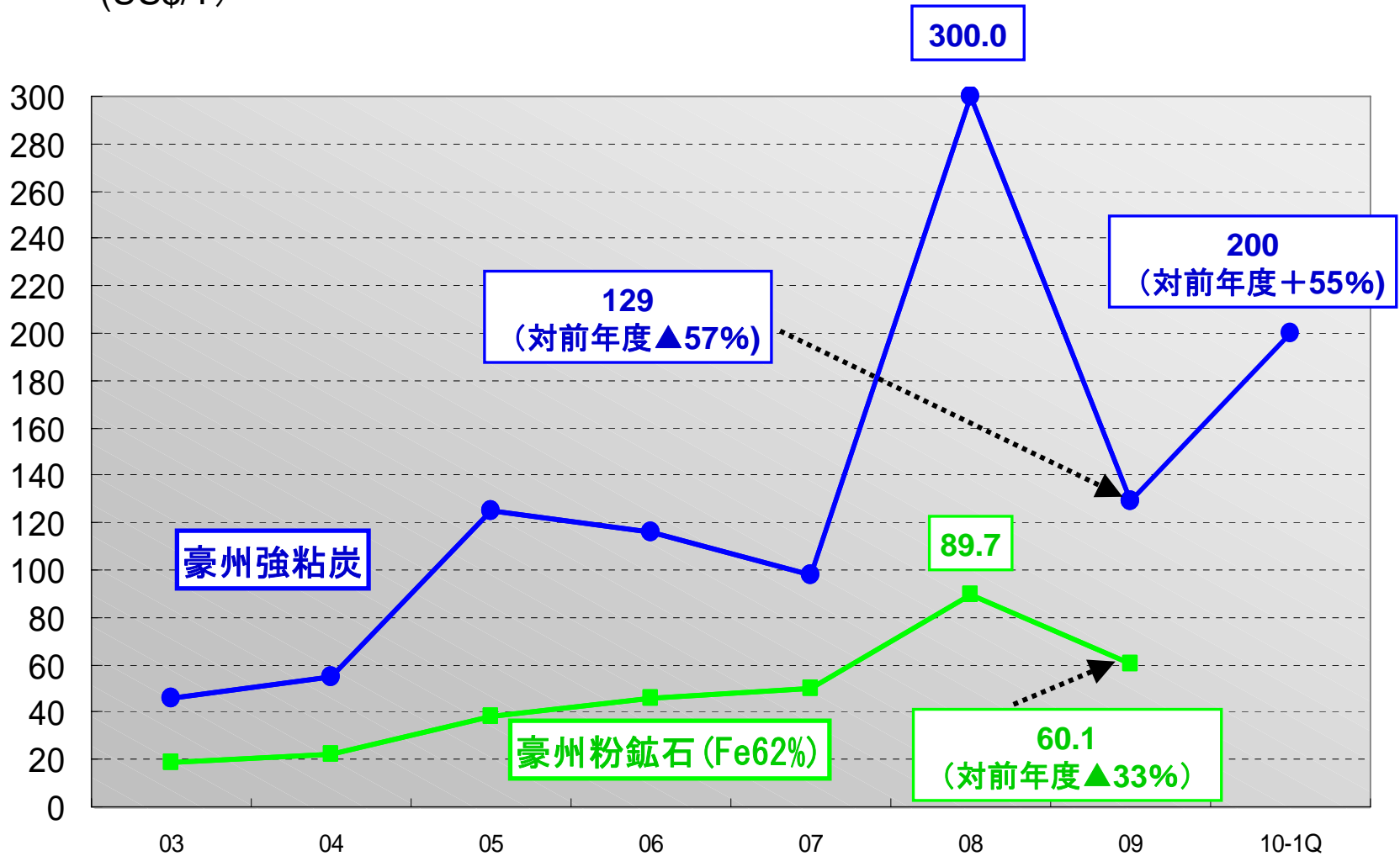


※米国: 中西部市況 (Purchasing誌)、欧州: ドイツ市況 (MEPS誌)
中国21都市鋼材平均市況 (増値税除く)

(2008年まで実績、以降世界鉄鋼協会の需要予測)

(参考)主原料価格推移

(US\$/T)



2010年度 連結業績見通し

鉄鋼事業におきまして、

- 鉄鉱石・原料炭の値決め方式についてサプライヤーから見直し要請があり、現在交渉中
- 鋼材販売価格改定についても交渉中
- 上記により、現時点では合理的な業績予想の算定ができないため、連結業績見通しは未定。

3. JFEグループの方針

JFEグループの経営方針(09.4.24発表)

将来の飛躍を図る為の中長期的な経営方針に変更はなく、事業環境を見極めながら、成長戦略に挑戦していく。

〔5つの柱〕

- 10年先を見据えた革新的な技術開発
- 成長と飛躍の足がかりの構築
- グループ経営体制の見直し
- CSRの推進・コーポレートガバナンス
- 財務体質の改善と株主還元

JFEグループの経営課題

昨年4月の経営方針発表以降の、「国内を含めた先進国の低迷」と「アジアを中心とした新興国の力強い回復」というマーケットの変化を踏まえて、以下の経営課題に取り組んでいく。

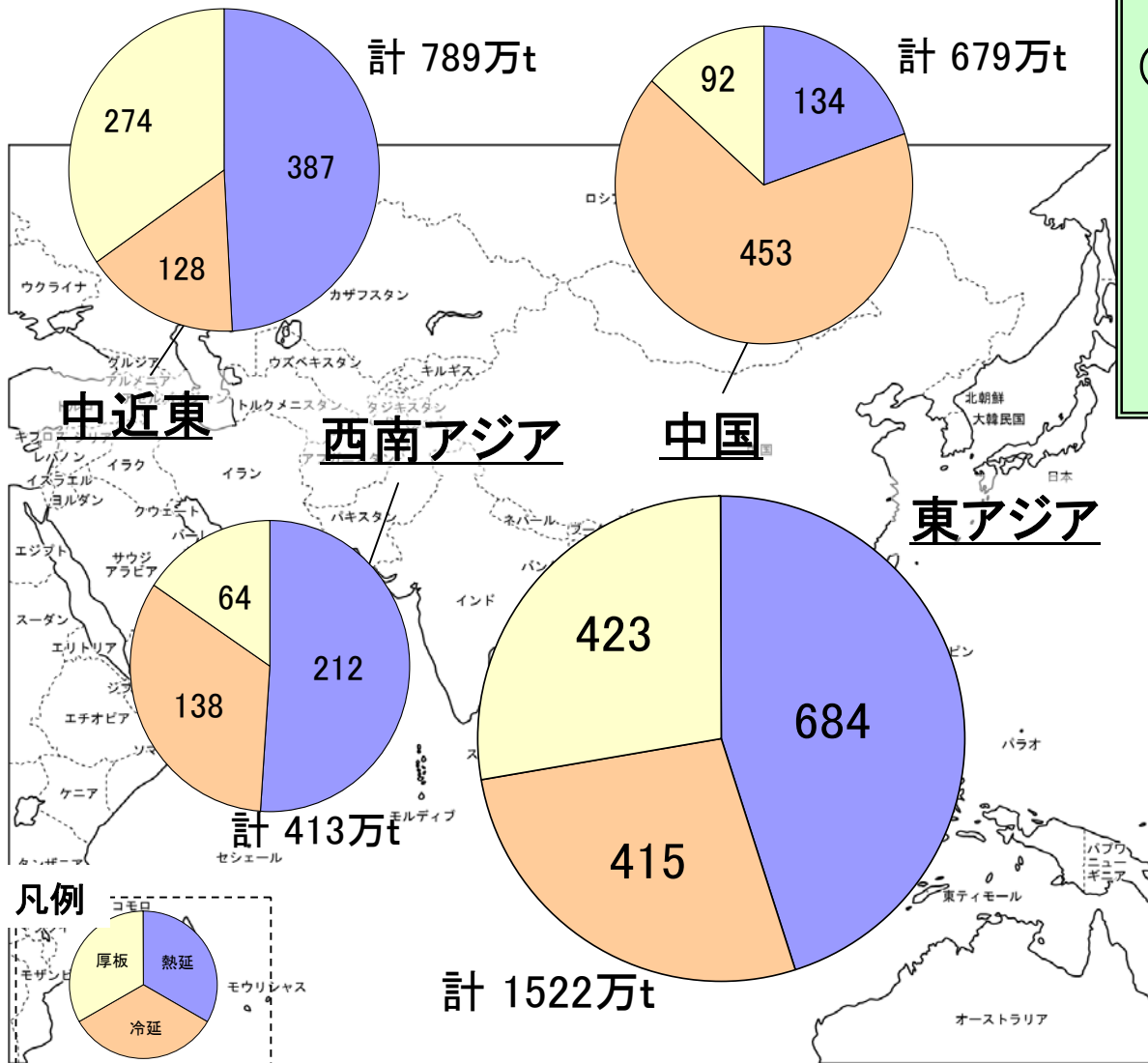
- 事業内容の「選択と集中」の強化
- 環境・エネルギー分野の需要捕捉
- アジアでの事業拡大
- グループ全体でのシナジーの追求
- 将来の成長への投資と財務体質強化のバランス



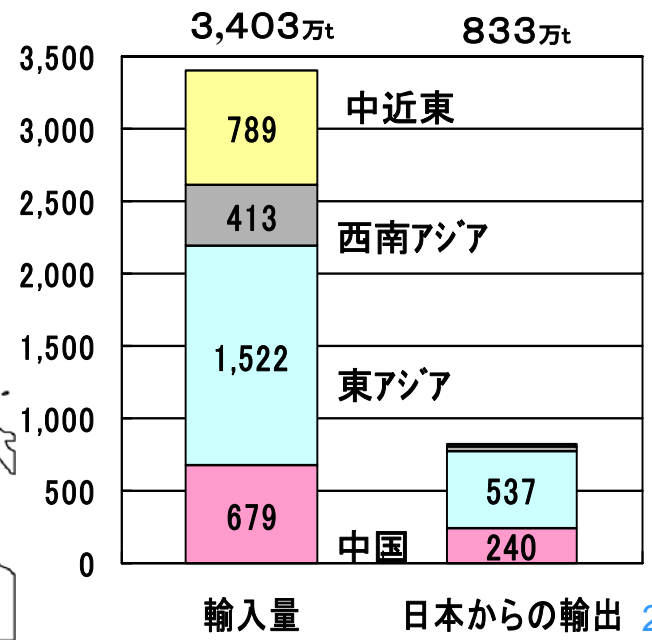
鉄鋼
事業

輸出強化：アジアはホームマーケット

08年輸入量(万t)



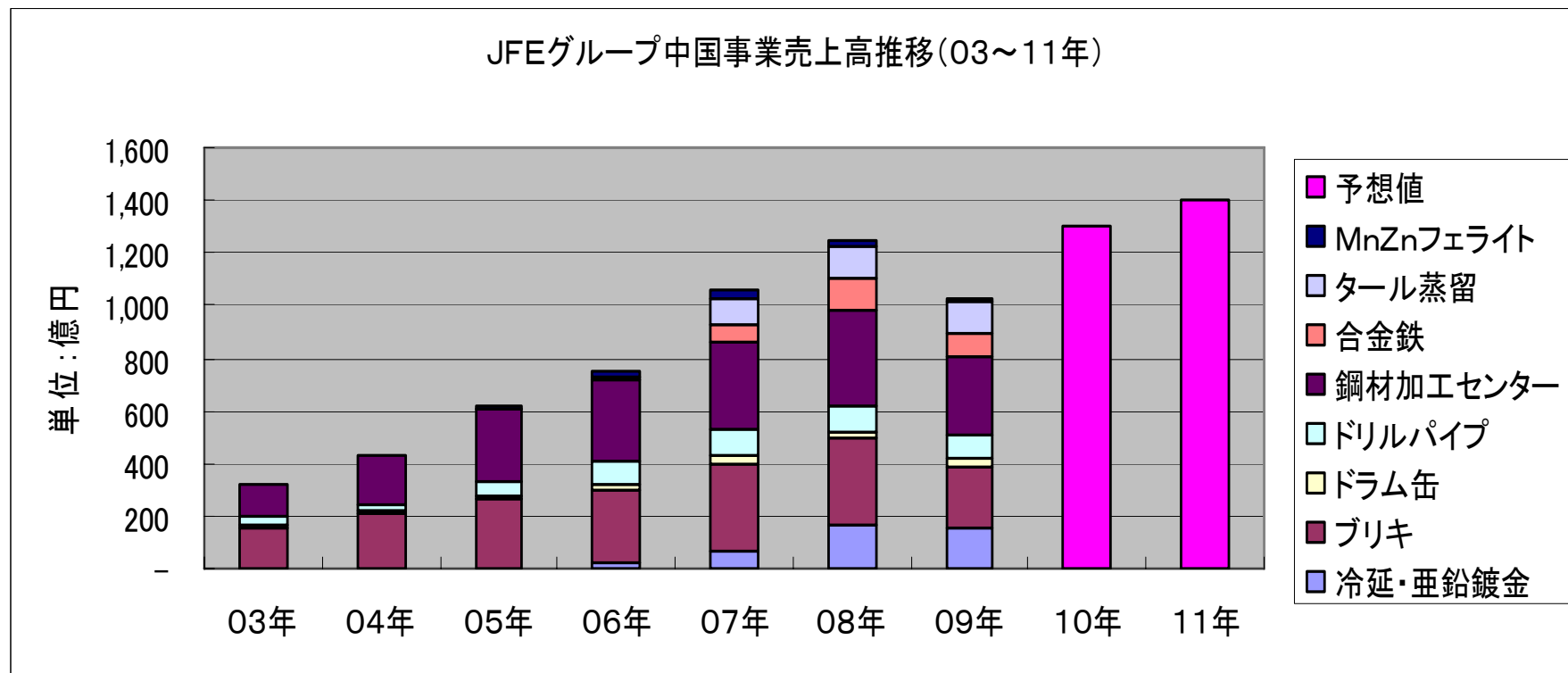
- ①アライアンス強化
- ②組織関連
 - ・ 拡販拠点への長期出張
 - ・ 営業組織再編
 - ・ 海外事務所強化



JFEグループの中国展開

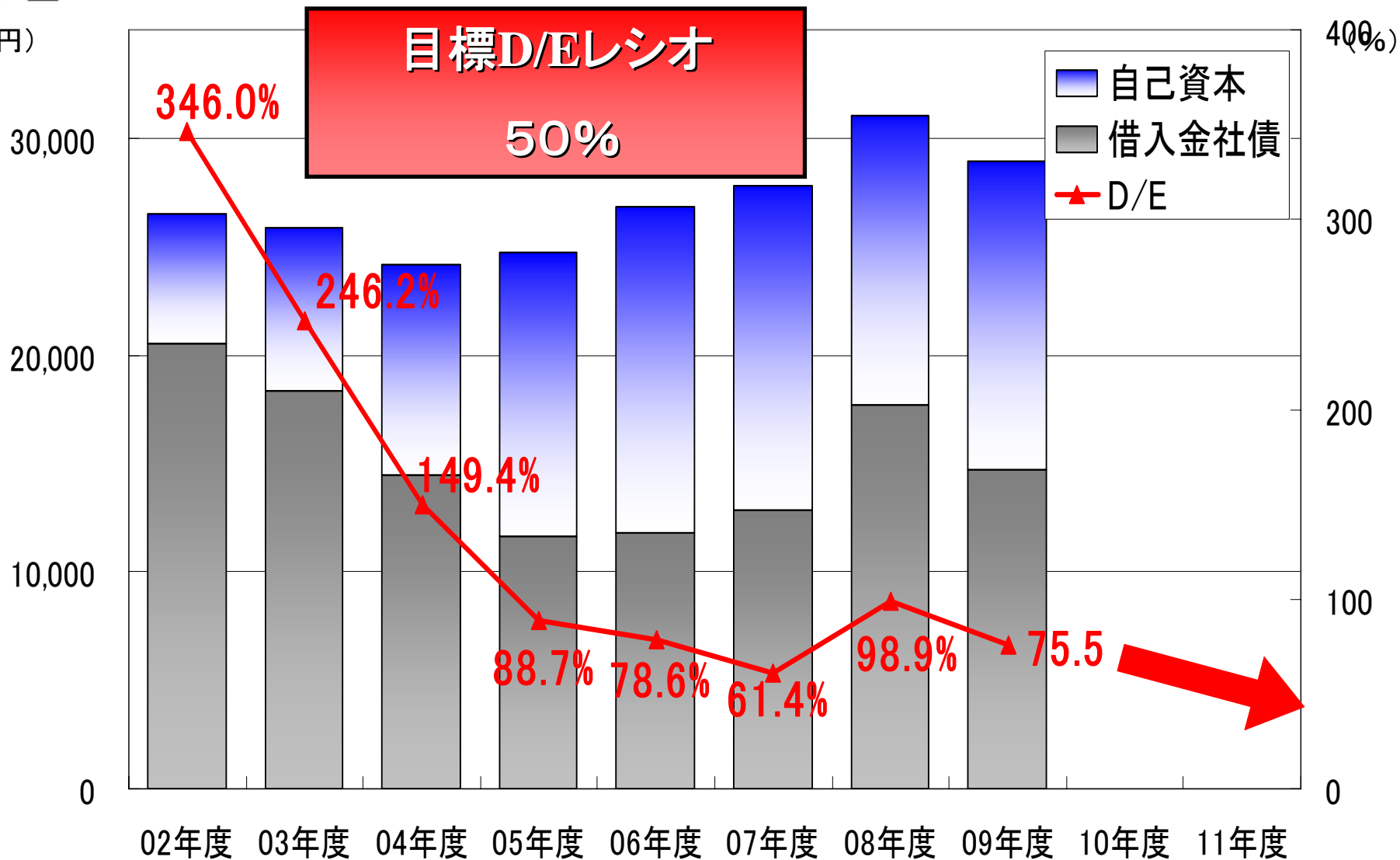
○JFEグループ中国事業の売上高は、JFE発足当初の03年は300億円程度であったが、08年には1200億円越えと約4倍になった。

○09年はリーマンショックにより一旦大きく減少したが、中国の回復に支えられ、新規設備の稼働もあり、2011年には1400億円程度となる見込み。



財務体質の改善

(億円)



(*) 07年度以降はハイブリッド社債3000億円のうち75%を資本とみなした数値

参考資料

主な財務関連データ推移

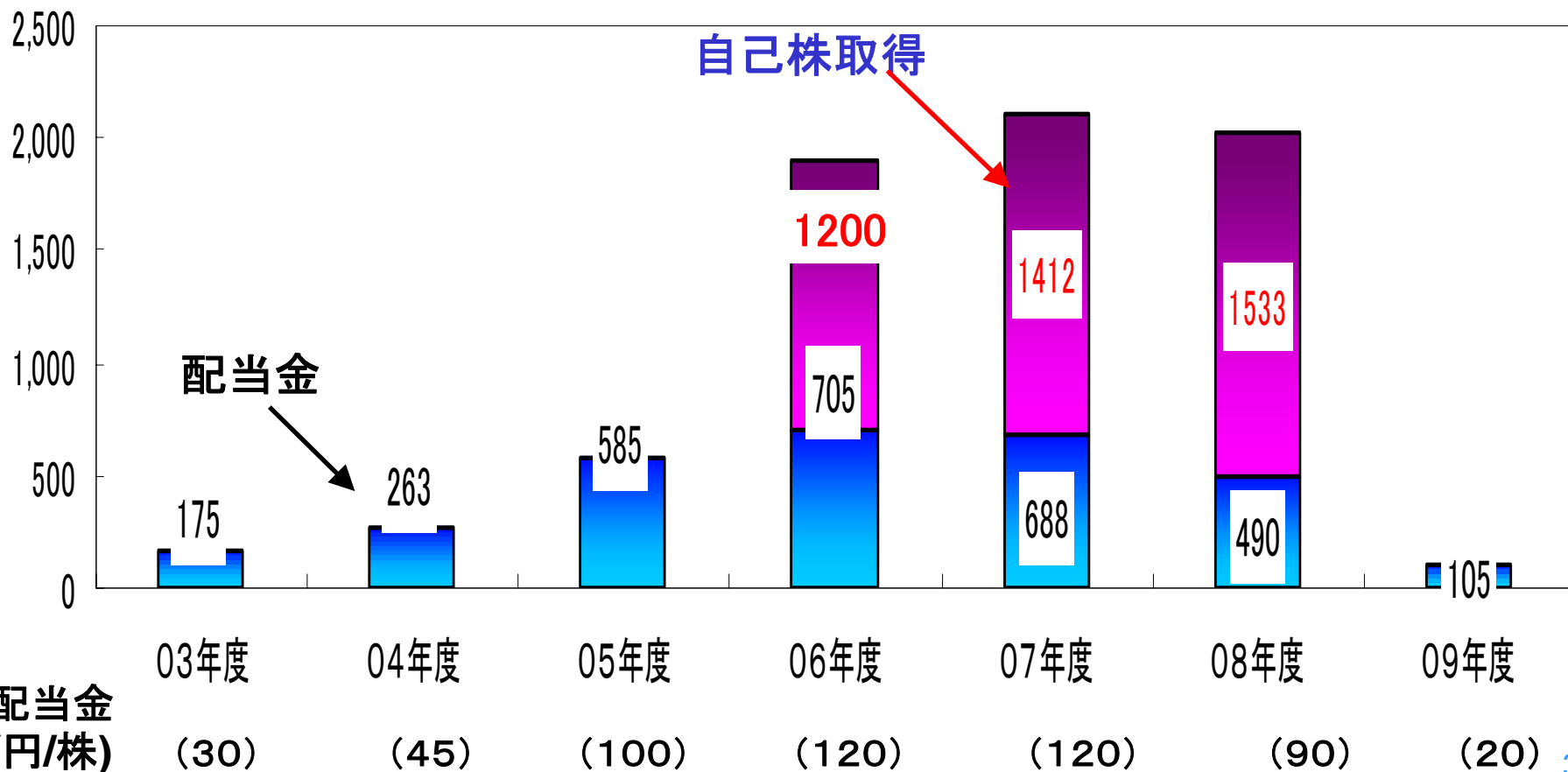
	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
【主要財務指標】							
経常利益（億円）	2,183	4,606	5,173	5,135	5,029	4,005	692
R O S	8.8%	16.4%	16.7%	15.8%	14.2%	10.2%	2.4%
R O E	15.9%	18.7%	28.6%	21.3%	17.5%	13.7%	3.3%
R O A	6.5%	13.1%	14.6%	14.1%	13.0%	10.0%	2.2%
D / E レシオ	246.2%	149.4%	88.7%	78.6%	85.7%	132.4%	103.2%
D / E レシオ ※ 1					61.4%	98.9%	75.5%
【株式関連】							
当期純利益（円/株）	185.8	274.0	555.0	513.6	450.6	355.6	86.4
配当金（円/株）	30	45	100	120	120	90	20

※1 08/3に発行したハイブリッド債 3000億円のうち75%相当を資本カウントした数値

株主還元状況

上段:総還元性向 / 下段:配当性向

16%	16%	18%	64%	80%	104%	23%
16%	16%	18%	23%	27%	25%	23%



JFEスチール

2009年度 連結決算

(参考) 生産・出荷状況

■ 単体粗鋼/出荷

(単位: 万t)

	08年度 実績					09年度 実績	08→09 差異
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月		
粗鋼生産	2,655	512	690	695	687	2,583	-72
鋼材出荷	2,506	434	628	620	636	2,318	-188
平均単価 (千円/t)	100.8	75.8	67.9	69.2	69.6	70.2	-30.6
為替 (円/ドル)	100.8	97.5	94.7	89.5	90.4	93.0	-7.8

■ 連結粗鋼

(単位: 万t)

粗鋼生産	2,928	572	756	759	748	2,835	-93
------	-------	-----	-----	-----	-----	-------	-----

(参考)09年度決算

単位：億円

JFEスチール	08年度 実績	09年度 前回(1/29)	09年度 実績
売上高	34,233	22,900	22,814
営業利益	4,250	500	468
経常利益	4,125	200	323

年度差異 08→09	年度差異 前回⇒今回
▲11,419	▲86
▲3,782	▲32
▲3,802	123

ROS 12.0% 0.9% 1.4%

-10.6%

期末日為替レートが円安になった影響(+30億円)やGr会社損益の改善(+70億円)等により前回公表(1/29)に対して123億円好転

(参考)業績推移

単位:億円

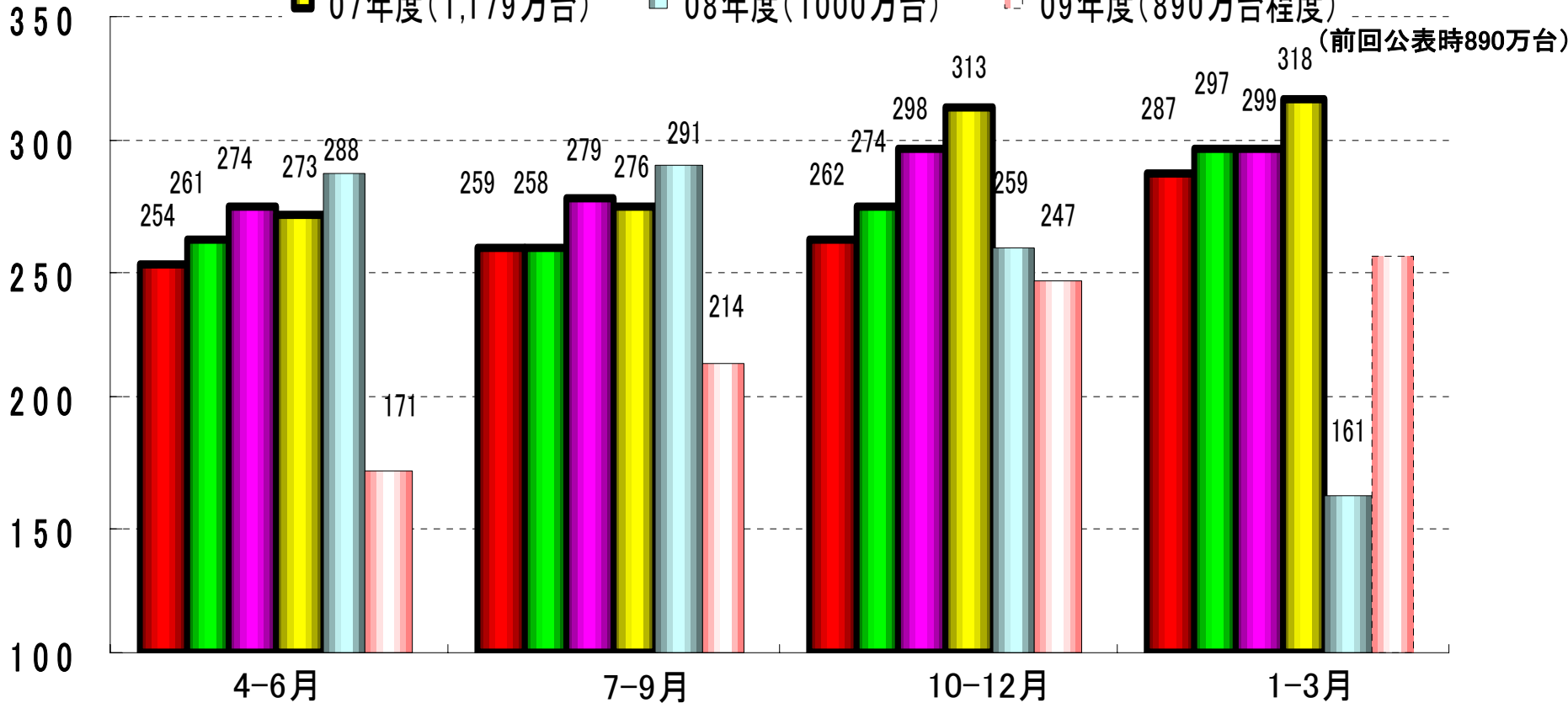
JFEスチール		07年度 実績	08年度 実績	09年度 実績
	単体	(22,762)	(25,850)	(16,495)
売上高		32,033	34,233	22,814
	単体	(4,080)	(3,245)	(26)
営業利益		5,217	4,250	468
	単体	(4,014)	(3,351)	(170)
経常利益		5,089	4,125	323
ROS		15.9%	12.0%	1.4%



2009年度 鉄鋼事業環境について

(万台)

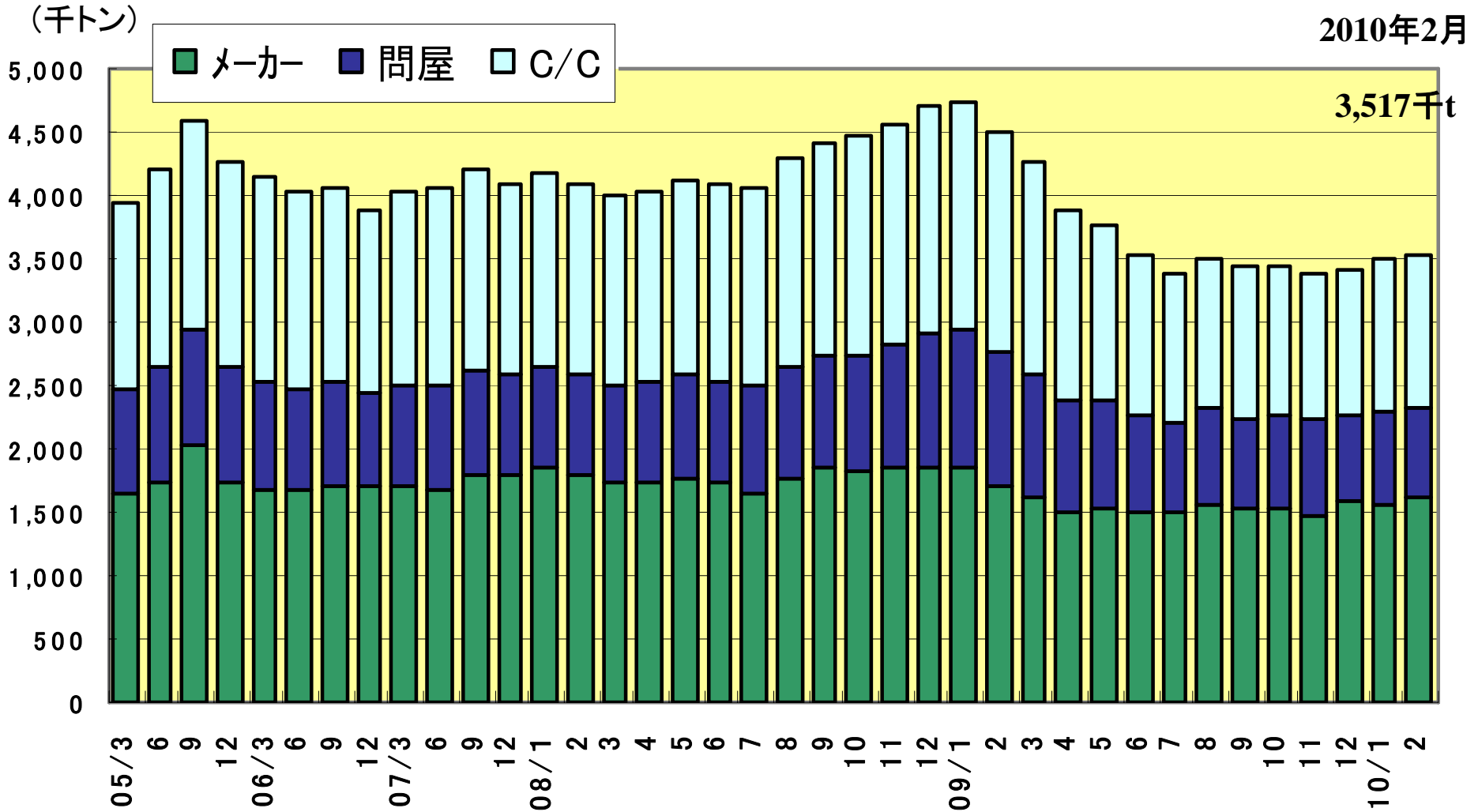
■ 04年度(1,062万台) ■ 05年度(1,089万台) ■ 06年度(1,150万台)
■ 07年度(1,179万台) ■ 08年度(1000万台) ■ 09年度(890万台程度)



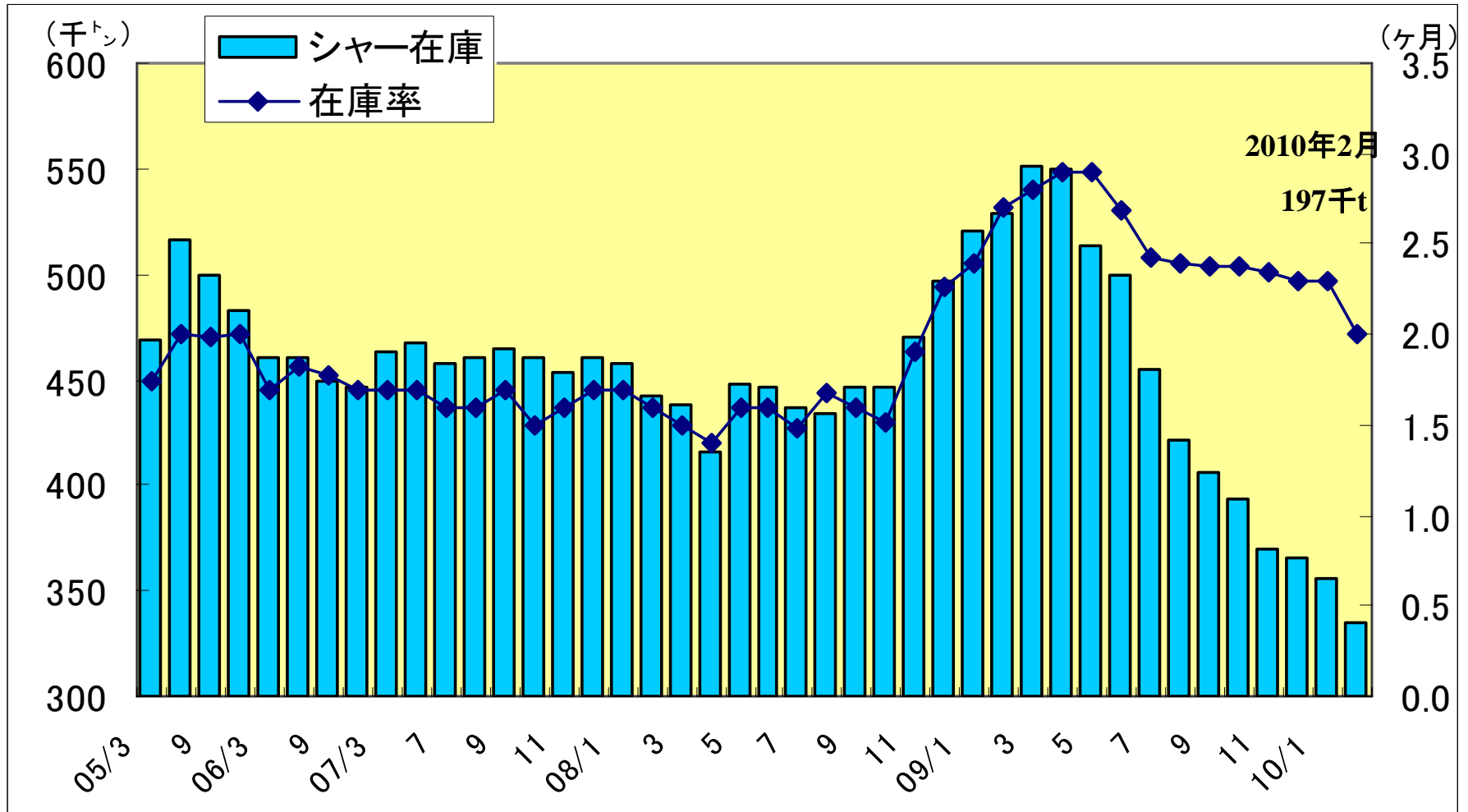
(前回公表時890万台)

(09年度はJFE推定)

国内販売環境 (薄板3品在庫)

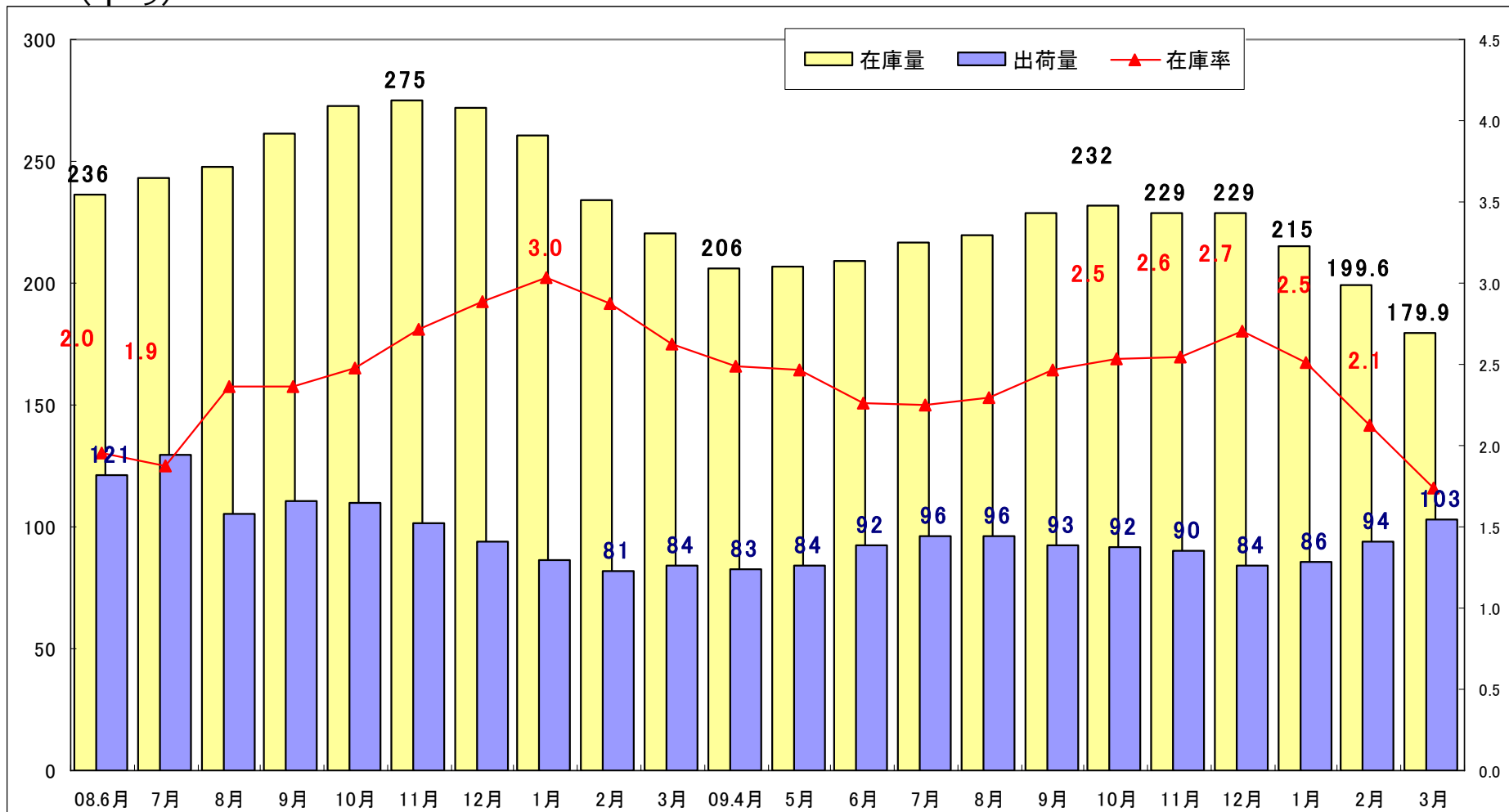


国内販売環境 (厚板シャー在庫)



国内販売環境(H形鋼在庫)

(千トン)



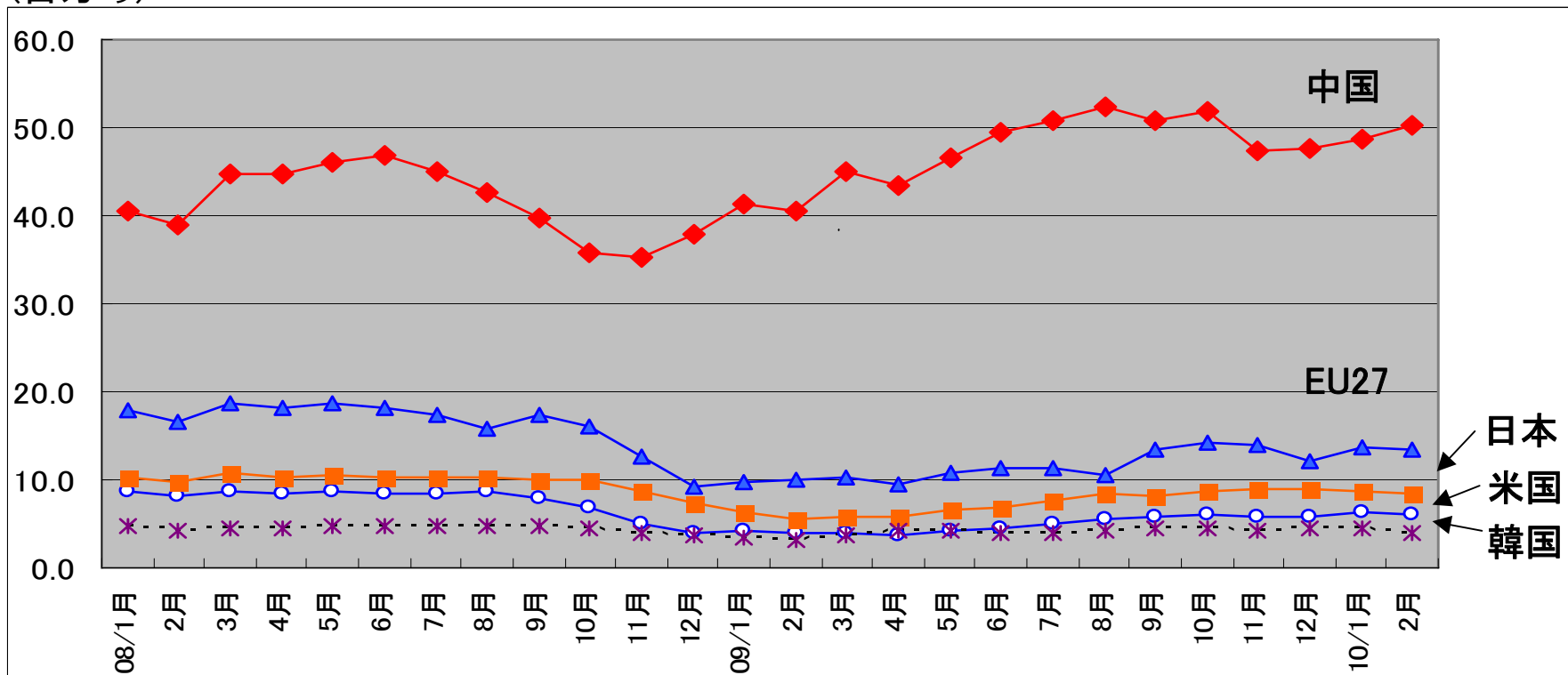
(出所:ときわ会)

輸出販売環境 (粗鋼生産)

◆2月世界粗鋼生産速報 107.5百万トﾝ 前月比▲5.9百万 前年同月比+25.6%
 ※中国:2月50.4百万トﾝ(全体比47%)。前月比▲1.7百万トﾝ 前年同月比+24.6%。

◇粗鋼生産

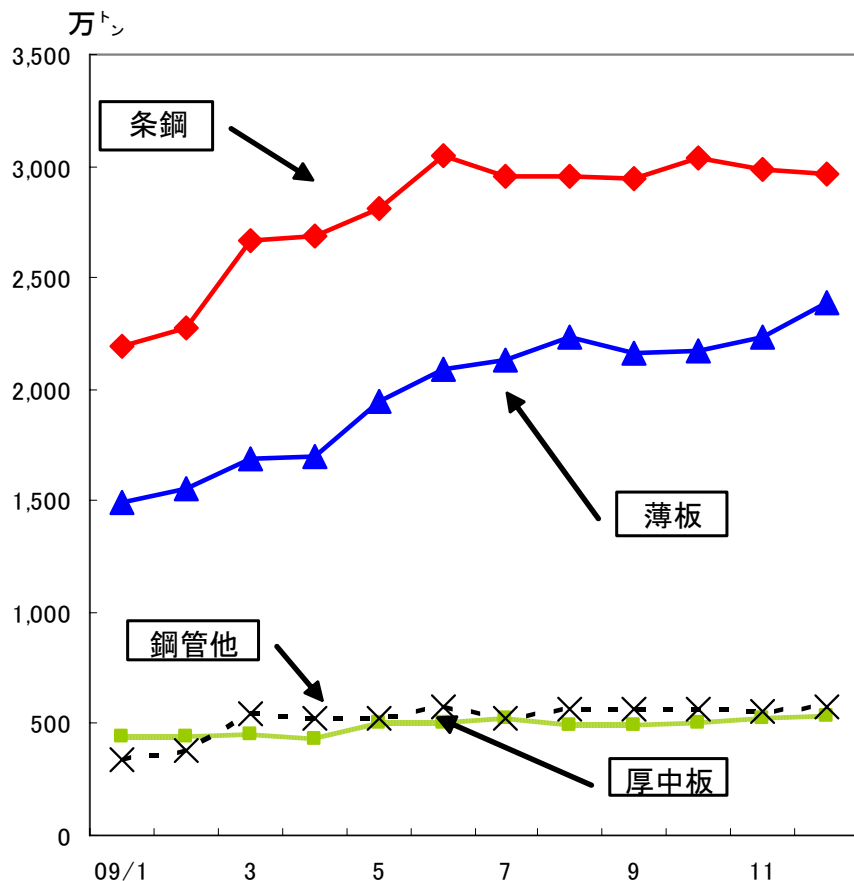
(百万トﾝ)



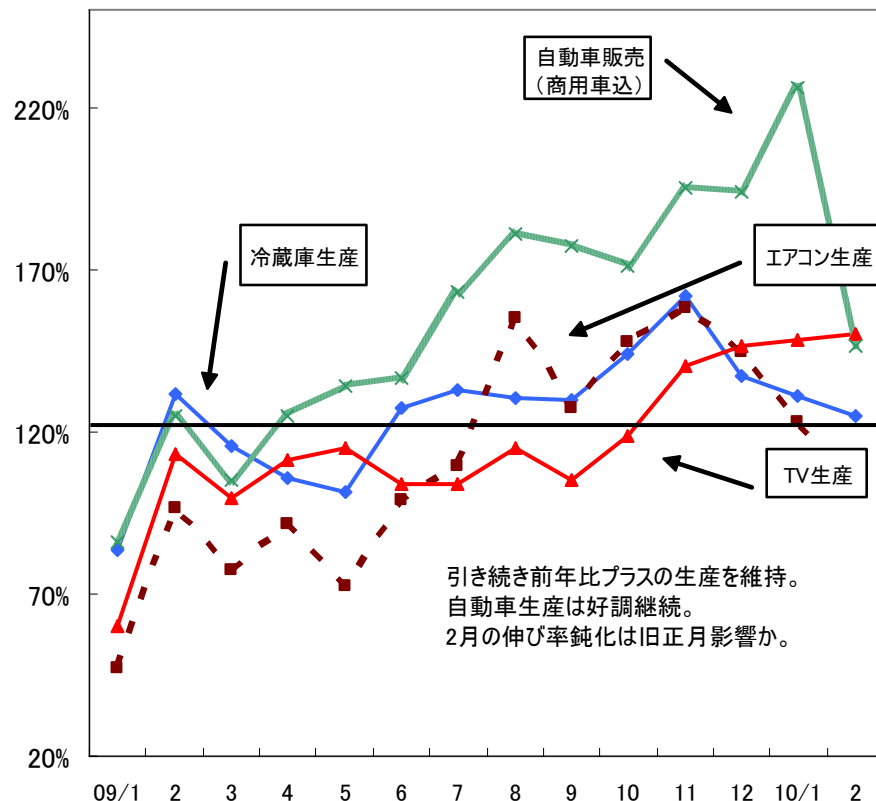
出所:WSA

輸出販売環境(中国生産動向)

◇中国品種別鋼材生産実績



◇中国 主要消費財生産実績
(対前年同期比伸び率)



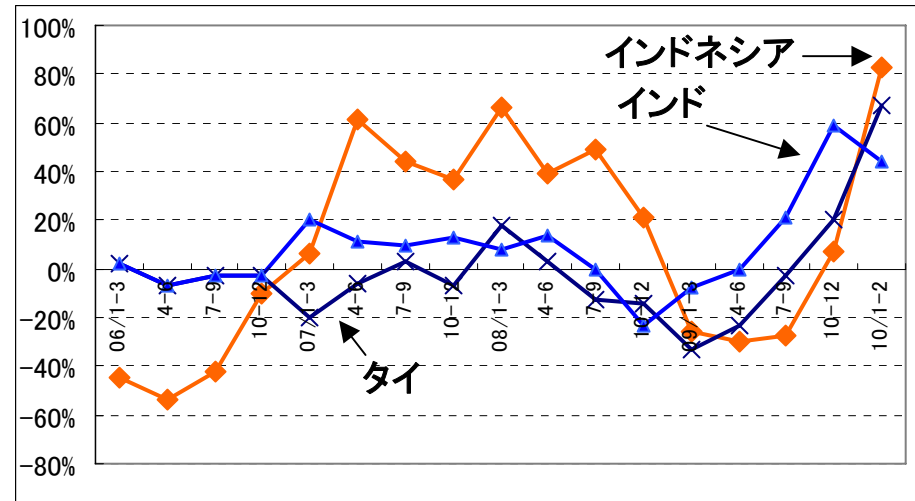
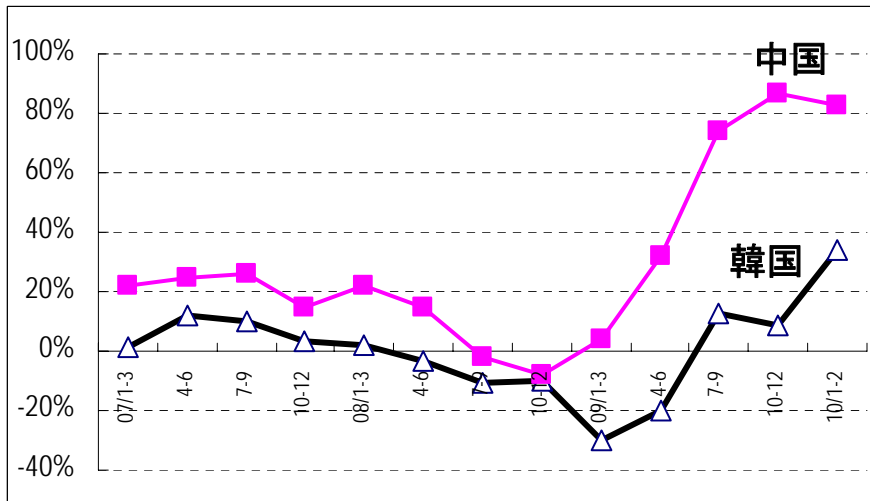
輸出販売環境（主要国自動車販売）



■自動車販売：中国を中心に政府の販売促進策効果もあり、各国で回復基調鮮明。

(前年同期比)

主要国自動車販売



※韓国は輸出版売も含む

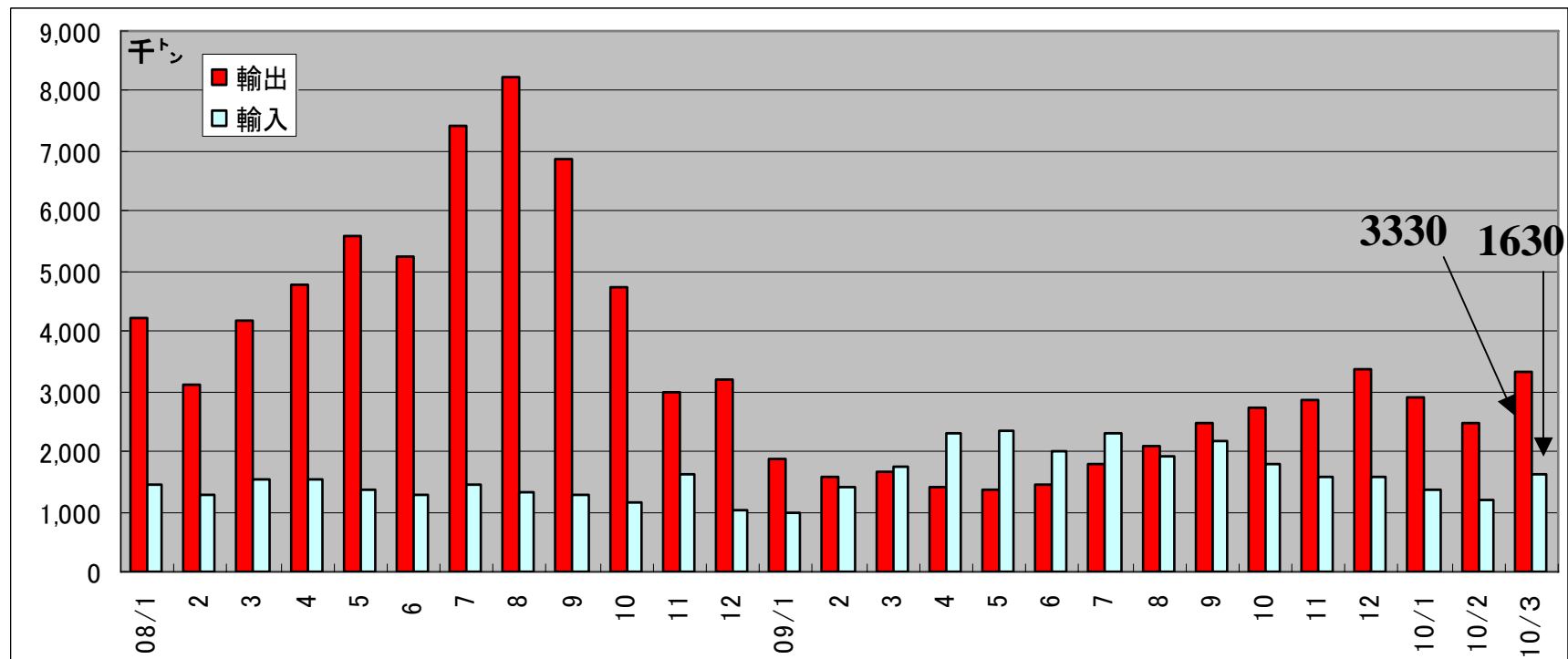
(単位:万台)

	07年	08年	09年		前年比		09年7-9月		前年比		09年10-12月		前年比		10年1-2月		前年比	
			1-3月	4-6月	09年7-9月	前年比	09年10-12月	前年比	10年1-2月	前年比								
中国	879	938	267	341	+82	+32%	356	+151	+74%	400	+186	+87%	287	+130	+83%			
韓国	407	384	69	86	▲21	▲20%	90	+10	+13%	108	+9	+9%	59	+15	+34%			
タイ	63	62	11	12	▲4	▲23%	14	±0	▲3%	18	+3	+20%	10	+4	+67%			
インドネシア	43	61	10	11	▲5	▲30%	13	▲4	▲27%	15	+1	+7%	11	+5	+83%			
インド	199	198	54	51	+1	+1%	59	+10	+21%	62	+23	+59%	49	+15	+44%			

輸出販売環境(中国 鋼材輸出入)

■ 中国の鋼材輸入は減少傾向。

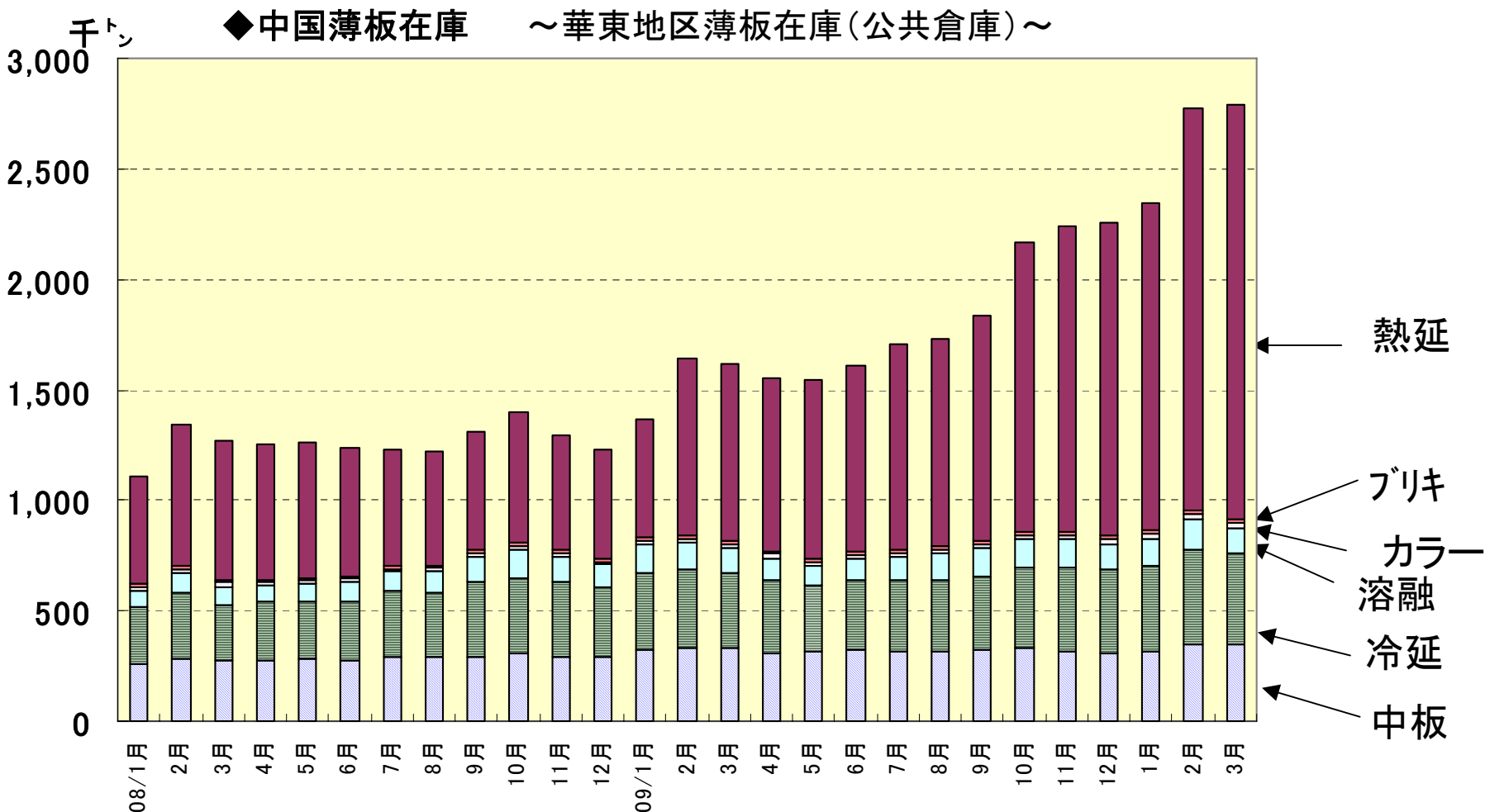
◆ 中国 鋼材輸出入推移(半製品含む)



出所:中国税関総署

輸出販売環境（中国薄板在庫）

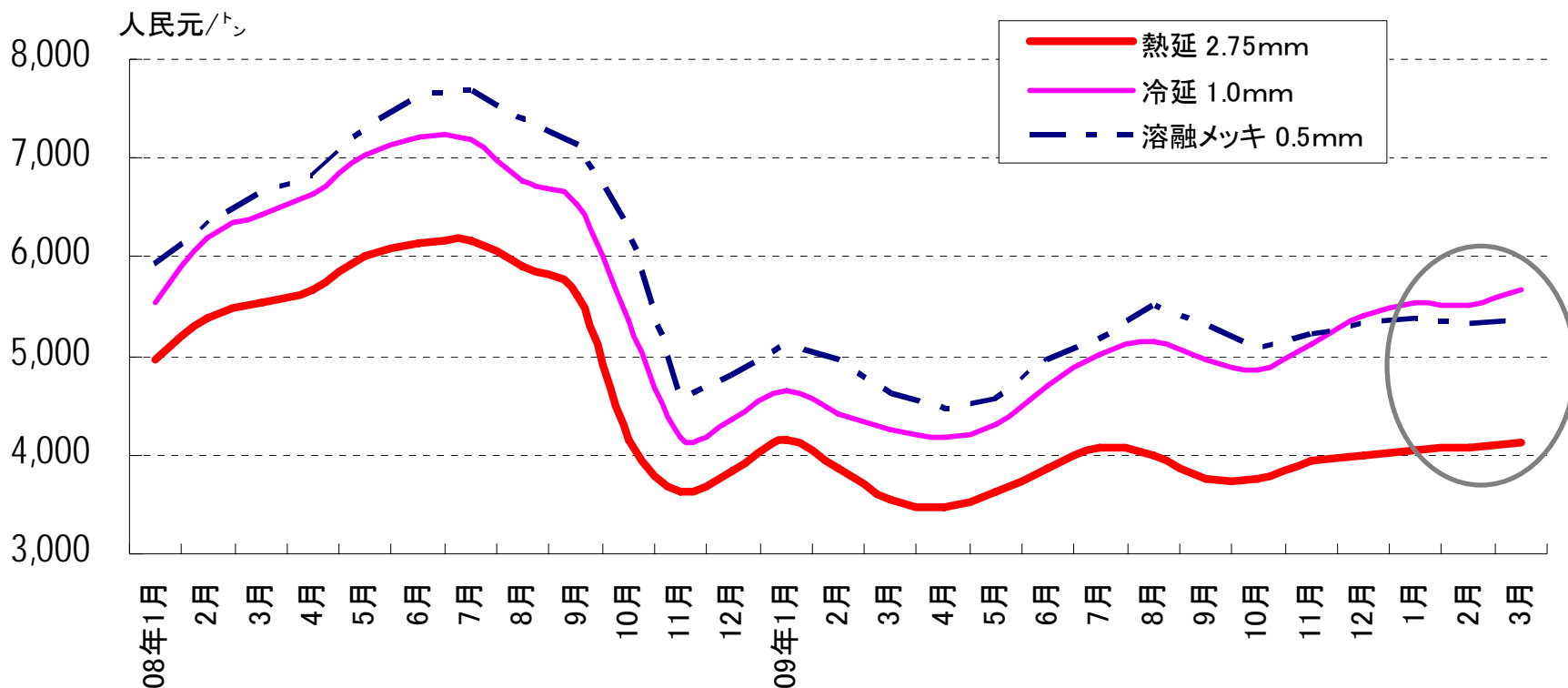
■在庫は依然高止まりの状態だが、実質増加しているのは熱延のみ。



輸出販売環境（中国薄板市況）

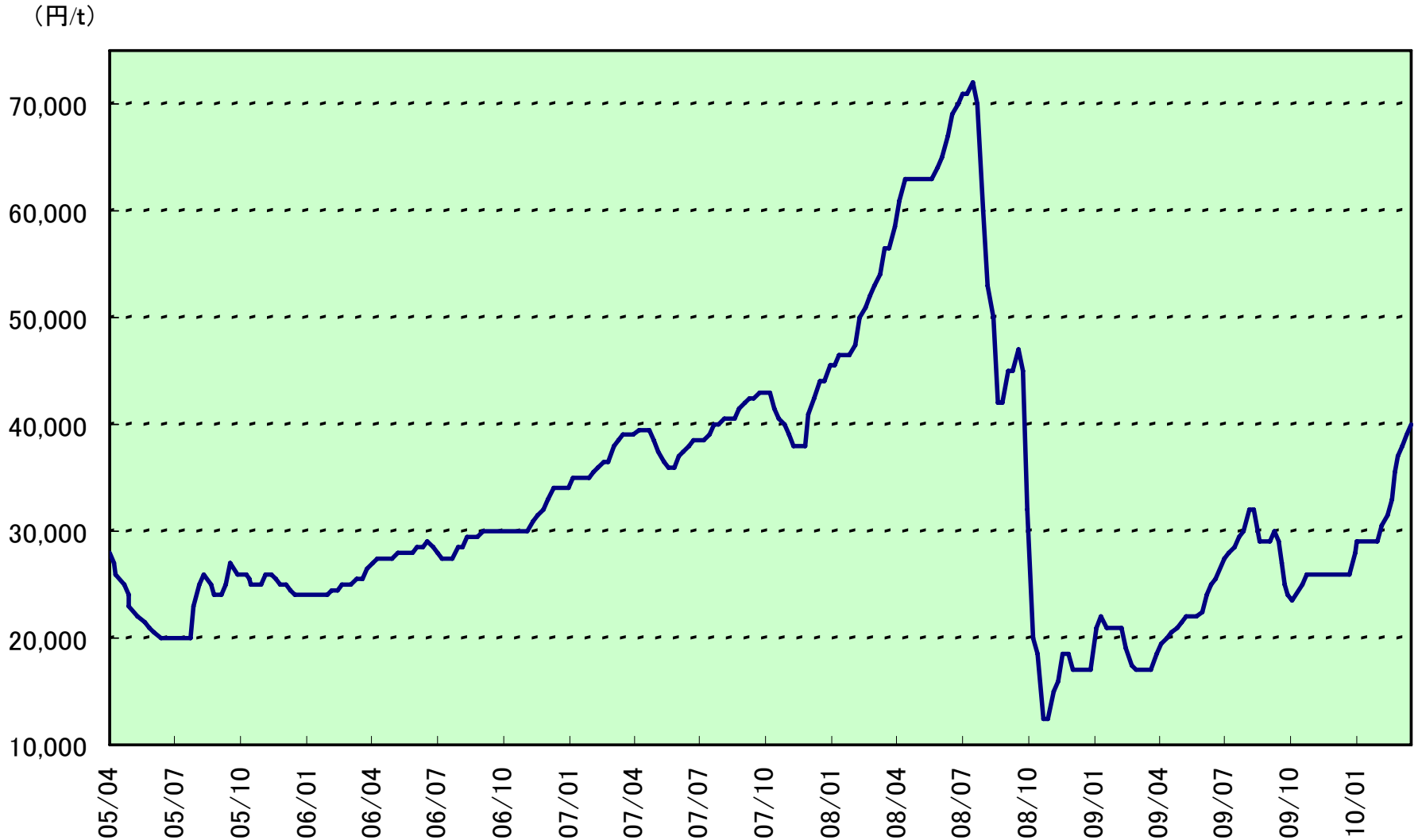
■ 中国の汎用品市況は旧正月以降再び上昇基調。

◆ 中国薄板市況推移

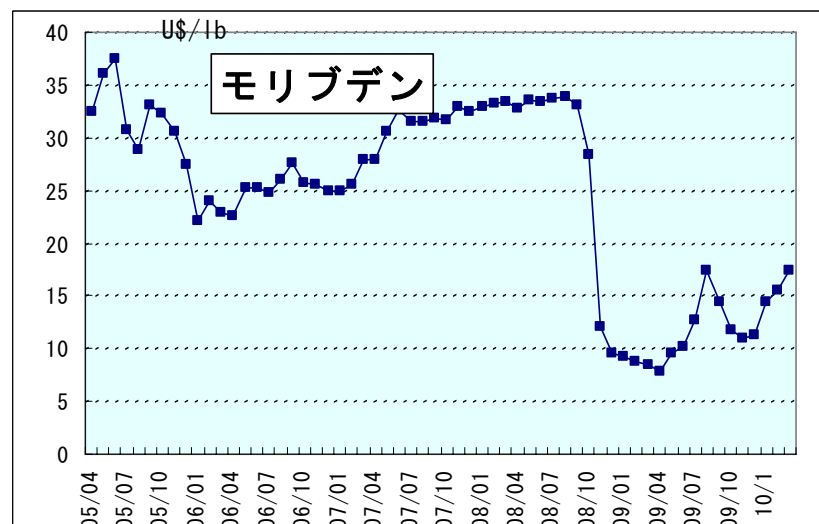
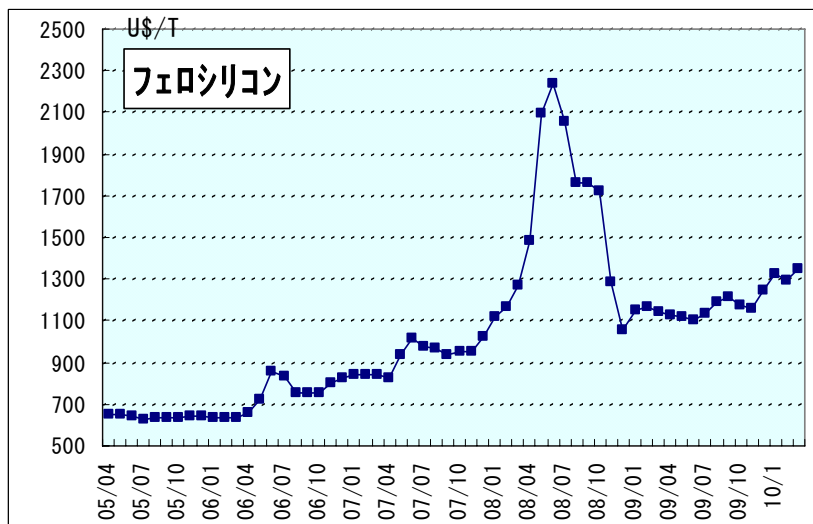
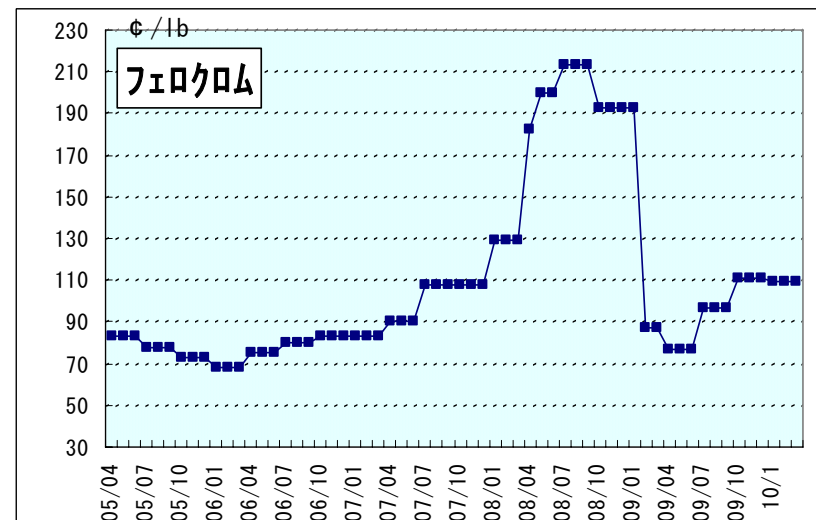
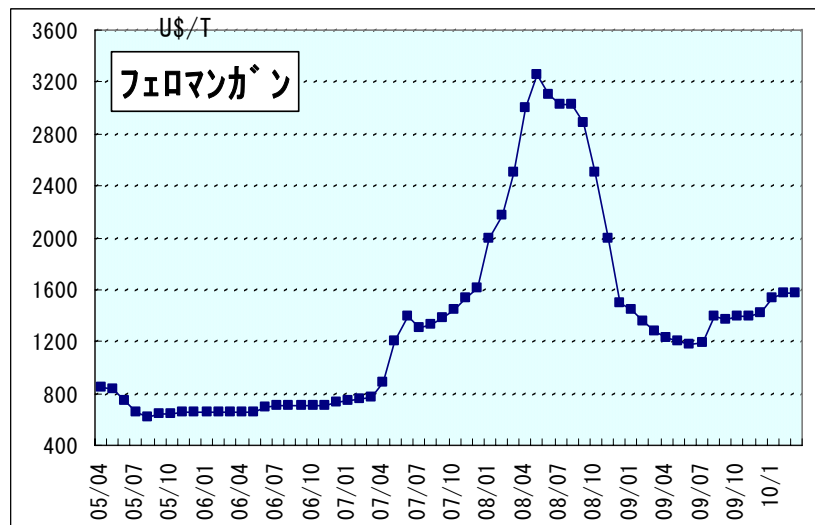


出所:中国物資価格情報 増値税含む
全国18地区鋼材市場の平均値

原料市況 (スクラップ価格推移)



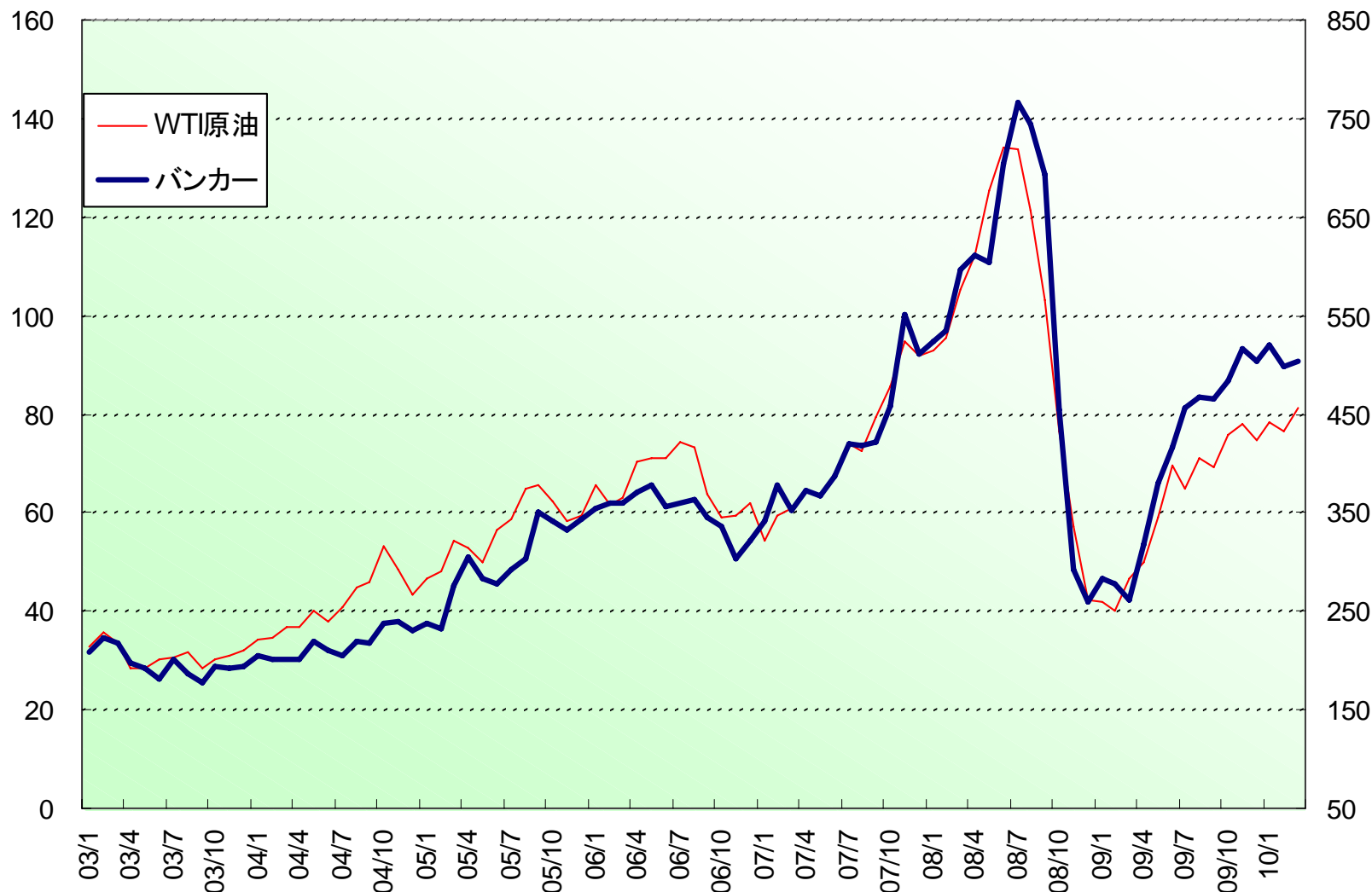
原料市況(金属類価格推移)



原料市況 (原油・バンカー価格推移)

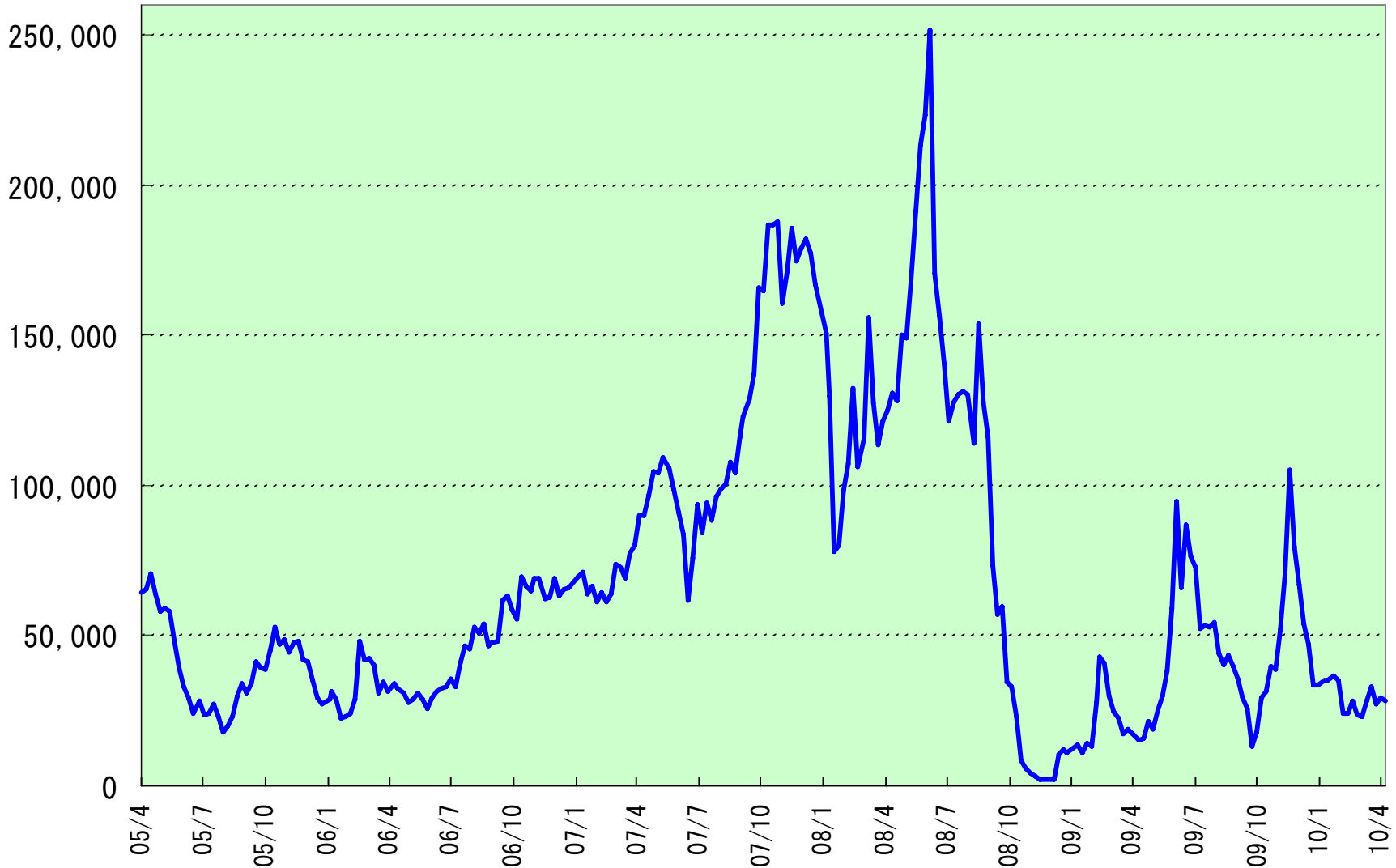
(原油 : \$/bbl)

(バンカー : \$/T)



原料市況(スポット傭船料推移)

(\$/日)





JFEエンジニアリング

2009年度 連結決算

JFEエンジニア 08年度⇒09年度

対前年度

(億円)

	08年度実績		09年度実績		増減 年間
	下期	年間	下期	年間	
受注高	1,512	3,283	1,225	2,792	※1 ▲ 491
売上高	2,127	3,382	1,773	2,942	▲ 440
営業利益	81	46	106	133	87
経常利益	94	99	105	133	※2 34

【主な増減要因】

※1 事業再編移管・建築鉄骨引受減による減少▲240
パイプライン出件減による減少▲180 他

※2 売上減に伴う損益の悪化▲45、
販価改善・変動費削減による粗利改善他+77、固定費削減+55、
持分法損益の悪化他▲53

造船事業

2009年度 連結決算



造船事業 08年度⇒09年度

対前年度

	08年度実績		09年度実績		年間
	下期	年間	下期	年間	
受注高	732	1,019	454	594	▲ 425
売上高	835	1,814	1,479	2,867	1,053
営業利益	▲ 77	▲ 152	111	210	362
単年度損益	▲ 17	▲ 4	75	44	48
受注工事損失引当金増減	▲ 44	▲ 110	53	206	316
のれん代償却	▲ 17	▲ 35	▲ 17	▲ 35	0
経常利益	▲ 78	▲ 149	111	215	※ 364

※【主な増減要因】

* コストダウン 100、工事進行基準影響ほか 138 為替・鋼材 △190

* 受注工事損失引当金計上取崩差 316

以 上